

令和5年度 第2回 小金井市環境審議会

日 時：令和5年10月17日（火）午前10時から
場 所：市民会館萌え木ホール A会議室

次 第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針について
 - (2) （仮称）小金井市気候市民会議について
 - (3) 小金井市環境報告書（令和4年度版）について
 - (4) 小金井市住宅用新エネルギー普及促進補助金について
 - (5) その他
- 3 報告事項
 - (1) （第1次）小金井市地球温暖化対策地域推進計画の総括について
 - (2) 小金井市立公園等及び小金井市環境楽習館の指定管理者の指定について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 次回審議会の日程について

<配布資料>

- 資料1 小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針
- (1) 小金井市施設における自動販売機に関する方針（案）（新方針案）
 - (2) 小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針（現行方針）
 - (3) 小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針改定案
(スライド資料)
- 資料2 （仮称）小金井市気候市民会議について
- (1) （仮称）小金井市気候市民会議について
 - (2) （仮称）小金井市気候市民会議について（スライド資料）
- 資料3 小金井市環境報告書（令和4年度版）資料
- (1) 環境保全実施計画（令和4年度）
 - (2) グリーン購入活動の実績
- 資料4 小金井市住宅用新エネルギー普及促進補助金について（スライド資料）

<参考資料>

- 参考資料1 （第1次）小金井市地球温暖化対策地域推進計画の総括について（改定）
- 参考資料2 小金井市立公園等及び小金井市環境楽習館の指定管理者の指定について
- (1) 小金井市立公園等及び小金井市環境楽習館の指定管理者の指定について
 - (2) 株式会社日比谷アメニスの概要
 - (3) 指定管理者選定委員会2次審査評価結果（指定管理者選定委員による評点結果）

小金井市施設における自動販売機設置に関する基本方針（案）

小金井市施設（以下「市施設」という。）における自動販売機の設置等に関しては、次によるものとする。

令和 6 年 月 日決定

小金井市長 白 井 亨

1 基本方針

公共施設に設置している又は今後設置を予定する自動販売機について、環境に配慮するとともに、災害時等にも活用できる機種を検討する等付加価値の高い機器の選定をすること。

2 具体的対応

- (1) 環境に配慮した太陽光ソーラー発電式やゼロカーボン等の仕様とするなど、環境に配慮した自動販売機の選定を推進すること。
- (2) 災害時にラジオや文字で災害情報を流せたり、緊急時に飲料を無償提供する機能を搭載させたりするなど、防災に配慮した自動販売機設置の選定を推進すること。
- (3) AED機能やキャッシュレス機能等、付加価値を有する自動販売機の選定を検討すること。
- (4) ペットボトル飲料のアルミボトル缶への置き換えや、ペットボトルであれば「ボトル TO ボトル (B TO B)」の商品ラインナップの選定を推進すること。
- (5) 自動販売機の外装等は、市民への啓発に資する内容のメッセージやデザインの選定を推進すること。
- (6) 障がい者や子どもなど、誰もが商品のボタンを押しやすく、お金や商品を出し入れしやすい形状、位置、色に配慮した自動販売機の設置を検討すること。（ユニバーサルデザインの導入）
- (7) ウォーターサーバーへの置き換えを検討すること。
- (8) 新たに設置を希望する場合は、特段の理由・要件を示した上で、環境政策課と協議すること。

小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針

小金井市施設（以下「市施設」という。）における自動販売機の削減に関しては、次によるものとする。

平成16年10月4日決定

小金井市長 稲葉孝彦

1 基本方針

公共施設に設置している自動販売機を削減することにより、CO₂の排出削減を推進し、地球温暖化を防止する一助とする。

2 具体的対応

- (1) 市施設には、原則として新たに自動販売機（業務上必要な券売機その他の自動販売機を除く。以下同じ。）を設置しない。
- (2) 既設の自動販売機は、現状の半数を当面の目標として削減する。
- (3) 設置者との間で行う自動販売機の削減又は撤去に係る調整については、当該許可等を行っている担当課が実施する。
- (4) この方針により難しい特段の理由が存するときは、別途環境部環境政策課環境係と協議する。

「小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針」改正案について

自動販売機 主な省エネ機能(1)

●ゾーンクーリング

庫内全部を冷やすのではなく、部分的に、もうすぐ売れていく商品だけを冷やすことで消費電力量を減らす機能。(学習省エネ)

最近、ほとんどの缶・ボトル飲料自販機にこの機能が付いている。

●ヒートポンプ

庫内の冷却装置から出る熱を再利用し、ホット商品を温めている。この方式により、消費電力量が大幅に低減される。

●真空断熱材の採用

自販機の省エネでは、庫内の冷たさや温かさをできるだけ逃がさないでエネルギー効率を高めることがポイントとなる。断熱材としてグラスウールなどを真空パックし金属フィルムで覆った保温効率の高い真空断熱材が使われるようになってきた。

出典：日本自動販売システム機材工業会

自動販売機 主な省エネ機能(2)

●照明の自動点滅、減光

自動的に照明（蛍光灯）をつけたり消したりしている。屋外に設置されているものは周りの明るさを感知するセンサーでコントロールされている。

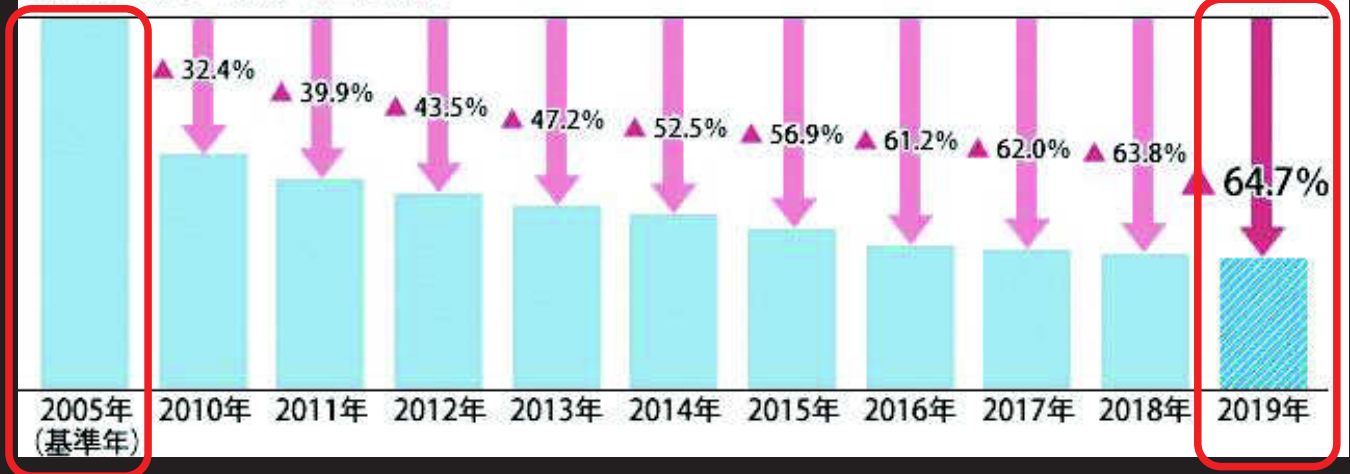
また、蛍光灯自体もインバーターによって減光し、使用する消費電力量が抑えられている。最近ではより消費電力量の少ないLEDも採用され始めている。

●学習省エネ

内蔵されたマイコンが、売行データなどを分析し、ゾーンクーリングなどの省エネ機能を自動的に適切に働かせる仕組み

飲料自販機 総消費電力削減の進捗状況

総消費電力量削減の進捗状況



平成17年度

令和元年度

64.7%削減

出典：一般社団法人全国清涼飲料連合会

市施設における自動販売機設置状況

		数量（台数）	
		平成16年度	令和4年度
市民文化施設	市民交流センター	—	2
	公会堂	2	—
	婦人会館	1	1
	桜町上水会館	1	1
社会教育系施設	公民館本館（日本町分館）	2	1
	公民館貫井南分館	0	1
	公民館東分館	2	1
	公民館緑分館	1	1
	公民館貫井北分館	—	1
スポーツ・レクリエーション施設	総合体育館	8	9
	栗山公園健康運動センター	1	2
	上水公園運動施設	2	2
	テニスコート	3	2
産業系施設	清里山荘	3	2
	東小金井事業創造センター	—	0
保健福祉施設	福祉会館	3	—
	障害者福祉センター	0	1
	児童発達支援センター	—	0
行政施設	本庁舎	3	2
	第二庁舎	5	3
清掃関連施設	貫井北町分室	3	—
	中間処理場	1	—
	野川クリーンセンター	—	0
自動販売機台数		41台	32台
施設数		18施設	19施設

●台数比較

41台
(平成16年度)

22%削減

32台
(令和4年度)

●施設当たり台数比較

2.3台/施設
(平成16年度)

26%削減

1.7台/施設
(令和4年度)

【参考】
(スポーツ施設を除いた場合)

1.9台/施設
(平成16年度)

42%削減

1.1台/施設
(令和4年度)

市施設における自動販売機 省エネ比較

平成16年度

41台 (2.3台/施設)

令和4年度

32台 (1.7台/施設)

●販売機自体の改良による省エネ
64.7%削減 (平成17年度→令和元年度)

●台数削減による省エネ
22%削減 (平成16年度→令和4年度)

自動販売機の消費エネルギーについて

平成16年度を「**100**」とした場合、

$$\text{令和4年度は } 100 \times 0.353 \times 0.78 = 27.5$$

(販売機自体の省エネ) (台数削減による省エネ)

設置台数自体は22%の削減であるが、消費エネルギーという観点からは半数以下となる。

削減方針 改正の概要

【現方針】

自動販売機の削減によりCO₂排出削減を推進する。



【新方針（案）】

- 環境配慮・防災対策等に資する機種へ切り替えていく。
- 温室効果ガス排出量は、第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）の各公共施設等の年度実績の中で把握していく。

【新方針（案）に記載する取組内容(1)】

- 環境に配慮した太陽光ソーラー発電式やゼロカーボン等の仕様とするなど、**環境に配慮した自動販売機の選定**を推進すること。
- 災害時にラジオや文字で災害情報を流せたり、緊急時に飲料を無償提供する機能を搭載させたりするなど、**防災に配慮した自動販売機設置の選定**を推進すること。
- AED機能やキャッシュレス機能等、付加価値を有する自動販売機の選定を検討すること。

【新方針（案）に記載する取組内容(2)】

- ペットボトル飲料のアルミボトル缶への置き換えや、ペットボトルであれば「ボトル to ボトル（B to B）」※の商品ラインナップの選定を推進すること。

※ 「ボトル to ボトル（B to B）」

食品用の使用済みPETボトルを原料化（リサイクル）し、新たな食品用PETボトルに再利用することをボトルtoボトルと言います。（注：同じボトルを再使用（リユース）する、いわゆるリターナブルPETボトルは含みません。）

- 自動販売機の外装等は、市民への啓発に資する内容のメッセージやデザインの選定を推進すること。
- 障がい者や子どもなど、誰もが商品のボタンを押しやすく、お金や商品を出し入れしやすい形状、位置、色に配慮した自動販売機の設置を検討すること。 **（ユニバーサルデザインの導入）**

【新方針（案）に記載する取組内容(3)】

- ウォーターサーバーへの置き換えを検討すること。
- 新たに設置を希望する場合は、特段の理由・要件を示した上で、環境政策課と協議すること。

新方針（案）について(1)

【方針名称（案）】

小金井市施設における自動販売機設置に関する方針

【基本方針（案）】

公共施設に設置している又は今後設置を予定する自動販売機について、環境に配慮した機器とするとともに、災害時等にも活用できる機種を検討する等付加価値の高い機器の選定をすること。

【解説】

新方針（案）は、自動販売機自体の削減を定めるものではなく、環境へ配慮した機種の選定を推進すること、災害時等も活用できる機種の選定をすることに重きを置く方針としたいため、方針名及び基本方針を変更する。

新方針（案）について(2)

【具体対応（案）】

「新方針（案）に記載する取組内容」に記載のとおり

【解説】

旧方針に記載の

「(1) 原則として新たに自動販売機を設置しない。」については、施設
の特性等に応じて必要になる可能性があり、柔軟に判断する必要がある
ため削除する。

「(2) 既存の自動販売機は、現状の半数を当面の目標として削除す
る。」は、台数ではなく **環境配慮・防災対策** に重きを置く方針とするため、
削除する。

(仮称) 小金井市気候市民会議の設置について

1 気候市民会議とは

気候市民会議とは、フランスやイギリス等で2019年頃から開催されている会議で、一般の市民が気候変動対策について話し合うもの。札幌市、川崎市などが他市に先駆けて実施済み。

2 近隣市の事例

(1) 武蔵野市（令和4年度実施 7月から11月にかけて5回）

誰もが気候変動問題の当事者としての意識を持ち、対策のための具体的な行動を実践していくため、気候市民会議では、無作為抽出などにより選ばれた市民が、地球温暖化・気候変動対策について話し合いを実施。

会議の議論を踏まえ市民一人ひとりの環境配慮行動を示す「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成。

(2) 多摩市（令和5年度実施 5月から7月にかけて5回）

令和5年度は、この気候危機を私たち一人ひとりが当事者としてとらえ、「何をすべきか」「何ができるか」などを話し合うための場として、多摩市気候市民会議を開催。会議の開催は、5回で各回、有識者からレクチャーを受けその後グループ討議を行う形式。意見等については、「多摩市みどりと環境基本計画」に反映予定。

(3) 日野市（令和5年度実施 8月から12月にかけて5回予定）

市民が複数の専門家から、気候変動の影響や課題を学びながら、複数回の会議で熟議を重ね、政策の提言としてまとめる。提言された政策案について、透明性が担保されたプロセスの中で内容を精査し政策に反映していく。

3 各市の共通点

- (1) 無作為抽出により実施
- (2) 概ね5回程度の開催（月に1度程度）
- (3) 報告書の作成、市への提言
- (4) 気候非常事態宣言発出済み

4 (仮称) 小金井市気候市民会議について

本市では、令和3年度に令和12年度までの10年間を計画期間とする第3次小金井市環境基本計画を策定している。

次期(第4次)小金井市環境基本計画については、令和13年度からが計画期間となり、策定の議論を開始するスケジュールを見定める中で、策定のプロセスに市民の意見を取り入れる方法として近隣市が行っているものとは異なるアプローチの方法で(仮称)小金井市気候市民会議を検討していきたいと考えている。

気候市民会議の役割は、無作為抽出された市民が、様々な議論を得て、市等へ提言などをすることと認識している。

市へ報告や提言又は、諮問を受けて答申をする機関として小金井市環境審議会を附属機関として設置しているため、小金井市環境審議会と気候市民会議の設置や位置づけについても協議を重ねていきたいと考えている。その前提を踏まえて気候市民会議を設置するまでのスケジュールを以下に示す。

5 (仮称) 小金井市気候市民会議設置までのスケジュール

(令和6年度から令和9年度まで)

《概要》

現在、環境政策課では、環境フォーラムなどの各種イベントを実施する際、広く参加者の募集をしている。この参加者募集をする際、募集人数の半数程度については、無作為抽出で市が選出した方々に来ていただくような枠を設けることとする。

(1) 募集について

毎年環境フォーラム等で募集している人数の半分程度について、市選出枠(無作為抽出)とし、残りの半分については、通常通りとする。

今まで環境等に対し全く興味がなかった人が、環境に触れるには、環境フォーラムなどのイベントが入りやすいと思われる。

一方で、環境関連のイベントも参加者が毎年同じような顔ぶれになると広がりがなくなってしまう懸念があるため、無作為抽出された市民の人たちが、次年度は、通常の募集に応募していただけるようなイベントを検討する。(無作為抽出された市民の人たちには、専用フォームなどで、参加確認を実施)

以上の方法を4年間継続して実施する。

(2) (仮称) 小金井市気候市民会議の位置づけについての検討

この4年間のうちに、小金井市環境審議会では、(仮称) 小金井市気候市

民会議の設置を前提に気候市民会議の位置づけ等の協議を行う。

- (3) (仮称) 小金井市気候市民会議のメンバーについて
4年間継続することにより一定数の無作為抽出された市民の人たちがいるので、この方々を(仮称) 小金井市気候市民会議のメンバーとする。
(イベント等に参加したことが下地になっていることが期待できる。)
- (4) その他
年齢などに偏りができれば、気候市民会議の実施年に、追加で新たに無作為抽出により選出する。

6 環境基本計画の策定(令和10年度から令和12年度)

- (1) 令和10年度から令和12年度
他市と同様の方法で、全5回の気候市民会議を開催し、令和10年度末に、提言書として小金井市環境審議会及び市に提出していただく。
提出された提言書を基に、市は小金井市環境審議会に諮問し、「(第4次) 小金井市環境基本計画」等の策定を進める。
- (2) 令和11年度から令和12年度
市は、令和13年3月までに(第4次) 小金井市環境基本計画を策定し、(仮称) 小金井市気候市民会議に報告する。(令和13年度実施の環境フォーラム等で報告)

7 地域の担い手として(令和11年度以降)

(仮称) 気候市民会議のメンバーとなった多くの人たちは、今まで環境にかかわることがなかった人たちであるが、今回のかかわりを継続できるようにすることが重要である。(市民協働の推進につながる。)

環境部には、環境美化サポーターや花壇ボランティア、ごみゼロ化推進委員等があるので、それらの団体への加入や、近所の低未利用公園を利用して、地域の方々に菜園づくりを実施するための担い手になっていただくのも一つの方法である。(その他、様々な場で活躍できると考えられる)

(仮称) 小金井市気候市民会議の設置について

気候市民会議とは

気候市民会議とは、フランスやイギリス等で2019年頃から開催されている会議で、一般の市民が気候変動対策について話し合うもの。札幌市、川崎市などが先駆けて実施。

近隣市の事例

武蔵野市（令和4年度）

地球温暖化・気候変動対策について話し合いを実施

「気候危機打開武蔵野市民活動プラン」を作成（令和5年度公表予定）

多摩市（令和5年度）

気候危機をひとりの当事者としてとらえ、話し合いを実施

「多摩市みどりと環境計画」に反映予定

日野市（令和5年度）

複数の専門家から気候変動の影響や課題を学びながら複数回の会議で熟議を重ね、政策の提言としてまとめる。

【共通】

- 無作為抽出等で選ばれた市民
- 概ね5回程度実施
- 報告書作成、市への提言
- 気候非常事態宣言発出済み

近隣市の事例

武蔵野市（令和4年度）

地球温暖化・気候変動対策について話し合いを実施

「気候危機打開武蔵野市民活動プラン」を作成（令和5年度公表予定）



一緒に考えてみませんか？地球温暖化と未来のはなし



武蔵野市 気候 市民会議



真夏の暑さ、突如の豪雨、四季の変化…地球温暖化が原因とみられる気候の変化はわたしたちの身のまわりで起こりはじめています。

世界中で地球温暖化解決に向けた社会のシステムの大きな転換が求められるなか、わたしたち一人ひとりには何ができるのでしょうか？

今のわたしたちにできることを共に学び、考え、話し合い、そして広めていくための場として「気候市民会議」を開催します。



出典：武蔵野市ホームページ

近隣市の事例

多摩市（令和5年度）

気候危機をひとりの当事者としてとらえ、
話し合いを実施
「多摩しみどりと環境計画」に反映予定

30年後に実現したい 多摩市の環境・社会のイメージ

多摩市気候市民会議で30年後の多摩市イメージを話し合い、
「気候政策」や「多摩しみどりと環境計画」に反映予定しています。
多摩市の将来イメージとして、実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

動植物・生態系が豊かで、
人間と共存している
まち



みどりや自然が豊かなまち

食やエネルギーの
自給率が高いまち



環境と経済に優しい
住まいに暮らせるまち



リデュース・リユース・リサイクル、
シェアが盛んな、
ごみや無駄なロスがないまち



徒歩・自転車・ベビーカーや車椅子などで
移動しやすいまち



楽しく、笑顔で、
心豊かに過ごせるまち



みんなで協力して緑の保全や
気候変動対策に取り組んでいるまち



企業や大学等との連携を活かして、
気候変動対策が加速したまち



CO₂を排出しない
手段で移動できるまち



若い世代に
選ばれるまち



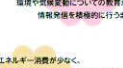
多摩市ならではのライフスタイルが
アバンガードになっているまち



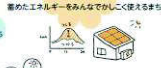
一人ひとりが気候変動対策を
自分ごととして捉えるまち



小中学校から
環境や気候変動についての教育が充実し、
気候変動を積極的に学ぶまち



エネルギー消費が少なく、
蓄めたエネルギーをみんなで大切に使えるまち



脱炭素なエネルギーを
つくるまち



多摩市気候市民会議

脱炭素に向けた 市民からの提案



2023年8月

出典：多摩市ホームページ

近隣市の事例

日野市（令和5年度）

複数の専門家から気候変動の影響や課題を学びながら複数回の会議で熟議を重ね、政策の提言としてまとめる。



日野市気候市民会議 日時・テーマ・登壇予定者

日程とテーマ	登壇有識者（予定）	情報提供企業（予定）
第1回（はじまり） 8月6日（日曜日） 会場：イオンモール多摩平の森 イオンホール	東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 江守正多氏 北海道大学 高等教育推進機構高等教育研究部 准教授 三上直之氏	なし
第2回（モノ） 9月3日（日曜日） 会場：日野市役所505会議室	一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会 理事 山口真奈美氏	セブン・イレブン・ジャパン 日野市資源リサイクル協同組合
第3回（モビリティ） 10月1日（日曜日） 会場：日野市役所505会議室	早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授 井原雄人氏	日野自動車株式会社 佐川急便株式会社
第4回（エネルギー） 11月5日（日曜日） 会場：多摩動物公園	芝浦工業大学 副学長 磐田朋子氏	東京ガス株式会社 富士電機株式会社
第5回（まとめ） 12月10日（日曜日） 会場：多摩平の森ふれあい館	東京都立大学法人 理事長 山本良一氏	なし

出典：日野市ホームページ

(仮称) 小金井市気候市民会議について

次期環境基本計画等策定のプロセスに市民の意見を取り入れる方法として、(仮称) 小金井市気候市民会議の設置を検討

他市のアプローチ方法とは異なる。

環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画										
第3次小金井市環境基本計画										
計画見直し										
次期計画										



(仮称) 小金井市気候市民会議設置スケジュール (令和6年度～9年度)

- ・環境フォーラム等の各種イベントに参加していただけるよう無作為抽出による募集枠を設ける。
(今まで興味がなかった人などに環境にふれていただく機会を創出する。)
- ・次年度は一般募集枠での参加

4年間継続する。

環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画										
			第3次小金井市環境基本計画				計画見直し		次期計画	



(仮称) 小金井市気候市民会議設置スケジュール (令和6年度～9年度)

同時に、**小金井市環境審議会**では
(仮称) 小金井市気候市民会議の位置づけ等を協議する。

環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画



(仮称) 小金井市気候市民会議設置スケジュール (令和10年度)

4年間で無作為抽出でされた市民の方で、趣旨に同意していただける方を(仮称)小金井市気候市民会議のメンバーとして、気候市民会議(全5回)を開催し、提言書として市に提出していただく。

気候市民
会議

提言

市

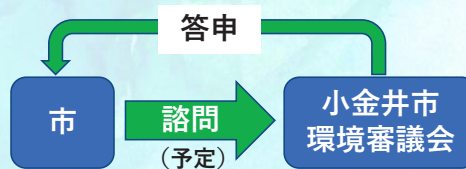
環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度
第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画										
		第3次小金井市環境基本計画							次期計画	
								計画見直し		



(仮称) 小金井市気候市民会議設置スケジュール (令和11年度～12年度)

提出された提言書を基に、市は小金井市環境審議会に諮問し、次期小金井市環境基本計画等の策定を進める。(予定)
(令和12年度末に策定)

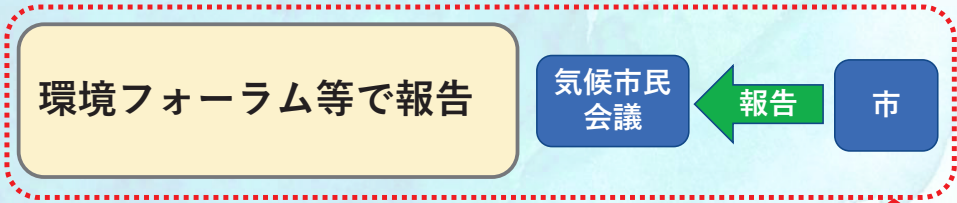


環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画										
		第3次小金井市環境基本計画						計画見直し		次期計画



(仮称) 小金井市気候市民会議設置スケジュール (令和13年度)



環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画										次期計画
		第3次小金井市環境基本計画				計画見直し				



地域の担い手として（令和11年度以降）

地域の担い手として、

- 環境美化サポーターとして
- 花壇ボランティアとして
- ごみゼロ化推進委員として …etc

様々な場所で活躍できる人材に！
（市民協働の推進にもつながる）

環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画											
			第3次小金井市環境基本計画					計画見直し		次期計画	



第3次小金井市環境保全実施計画

(前期:令和3~7年度、後期:令和8~12年度)

関係部署のご連絡をお願いします。

資料 3(2)

体系No.	実施年度	事業No.	事業等名称	事業等の概要	所管課名	担当	中期の視点から事業の方向性	実施計画年次(前期)								毎年の進捗管理に於ける記入欄					評価に対する評価				実績(効果)に対する評価	備考	
								4つの方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」の方向性について(「完了」は達成していることとする。「実施・充実」「継続」「検討」は進捗状況を「達成」「達成し残」「達成し着手」で示す)								令和4年度実施状況					令和5年度の実績予定						
								前期5年度 (R3~7年度)	後期5年度 (R8~12年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	達成(●)	達成し着手(○)	達成し残(△)	未実施(□)	中止(×)	実施(●)	実施し着手(○)	実施し残(△)	未実施(□)	中止(×)			
000			事業等名称	事業等の概要	所管課名	担当	中期の視点																				
010			環境教育・環境学習																								
011			事業の概要																								
011	1	011-1	環境講座	環境啓発事業の一環として環境講座を行う。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	新設エコワイズ感染症予防のため 「あそびくつろぎ」 野川の池畔には、 とほろくつろぎ、 じぶん1人暮らし 30分実施した。		A		A		A					
011	2	011-2	環境フォーラム	環境をテーマにした活動や体験型交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う等として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和4年11月に 小金井 霊地家 ホールで開催し、 延べ950人の 方が参加された。	初めて開催し 環境の現状を 認識し、若、世代 の間に参加して いた。	A		A		A					
011	3	011-3	ワン野生丹精	市民・事業者、市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	新設エコワイズ 感染症予防のため 2月1日(暫行) (代替でフールド ワークを行った)	新設エコワイズ 感染症予防のため 中止となった。	B		B		B		- (その他)	未実施		
011	4	011-4	環境施設見学会	環境啓発事業の一環として環境関連施設の見学会を行う。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和4年3月11日 に多摩環境科学 園で実施した。	多摩の樹木を テーマとした 10人参加された。	A		A		A		A			
011	5	011-5	小金井市環境賞	環境活動に功績のあった市民、市内の団体または事業者を表彰する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和4年度から 事業内容を 見直し、表彰 の厳格化を図 り、実施した。	事業内容を 見直し、表彰 の厳格化を図 り、実施した。	A		A		A		A			
011	6	612-6	くさみ出講座	市のゴミの分別や処理の行方、リサイクルについてなどをお知らせする出講座を行う。	ごみ対策課	減量推進係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	出張講座(8 回)等で開催 した。	オンラインでの学習 教材も提供して 対応した。 が、より充実 させる必要がある。	A	0	A		A		A			
011	7	011-7	小金井市水環境学習講座	行政、各団体、企業等の協力を得て、職員が市民向けに出発講座を行う。メニューに環境、水資源、防災、教育等がある。	生涯学習課	生涯学習係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	出張講座の 実施回数 14回	新設エコワイズ 感染症予防のため 中止となった。	A		A		A		A			
011	8	011-8	公民館事業	公民館事業(子どもの体験講座、市民講座、成人学校等)で環境をテーマとする講座等を開催する。	公民館	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民講座、成人 学校、長者による 自主講座等主として 開催を実施した。	講座参加者が 増加する傾向にある。 いづれに新規参加 者を呼び込む。	A		A		A		A			
011	9	011-9	環境学習の推進(環境教育資料の提供)	環境教育にかかわる資料を学校に提供する。	指導室	指導主事	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	東京駅等が作成 する資料や「こども の環境」の紹介	各市の教育課程 に合わせた環境教育 の資料を作成した。	A		A		A		A			

体系No.	事業等の名称	事業等の内容	事業等の名称	事業等の内容	所管課名	担当係	中期的視点から事業期間の方向性	実施計画					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	備考		
								前年度(前年度)	後年度(後年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A-継続(値上げ)	B-拡大(新設)				C-縮小(廃止)	D-その他
XYZ	N	XYZ-N																			
011	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
020	継続・維持活動																				
021	市民活動振興の強化																				
021	1	021-1	環境市民会議との協働	環境市民会議による活動を支援する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	補助金交付による活動の支援のほか、職員が参加している。	環境保全に際して共有することができ、連携が図られている。	前年度と同様に、委員会、会合を実施予定。	A	A	
21	2	環境	131-2	環境市民会議による市民活動の支援	環境政策課	総務・広報係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	環境市民会議との協働による市民活動の支援のほか、職員が参加している。	環境市民会議との協働による市民活動の支援のほか、職員が参加している。	環境市民会議との協働による市民活動の支援のほか、職員が参加している。	B	B	環境市民会議との協働による市民活動の支援のほか、職員が参加している。
021	3	環境	132-1	「小倉市環境美化ポスター制度実施要綱」に基づく環境美化ポスター制度の活用促進	環境政策課	総務・広報係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	新たに2団体が発行されたポスターを、市民活動課に提供し、市民活動課を通じて、各公民館で活用する。また、公民館での活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。	新たに2団体が発行されたポスターを、市民活動課に提供し、市民活動課を通じて、各公民館で活用する。また、公民館での活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。	新たに2団体が発行されたポスターを、市民活動課に提供し、市民活動課を通じて、各公民館で活用する。また、公民館での活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。	A	A	A
021	4	環境	322-4	田んぼの時間	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C	新型コロナウイルス感染症予防のため中止。	新型コロナウイルス感染症予防のため中止。	新型コロナウイルス感染症予防のため中止。	B	D	新型コロナウイルス感染症予防のため中止となったが、
021	5	環境	521-3	小倉市環境美化ポスター制度(遊園)	道路管理課	道路管理係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民活動課によるポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。	市民活動課によるポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。	市民活動課によるポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。	0	0	市民活動課によるポスターの活用を支援する。また、ポスターの活用を促進するため、ポスターの活用を支援する。
021	6	021-6	公民館市民活動団体	市民活動団体の情報が掲載された公民館市民活動団体リストを更新する。	コミュニティ文化課	文化推進係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和4年7月1日現在、市民活動団体の登録が完了している。	令和4年7月1日現在、市民活動団体の登録が完了している。	令和4年7月1日現在、市民活動団体の登録が完了している。	A	A	
021	7	021-7	公民館市民活動団体	市民の生涯学習活動を支援するため、市民活動課が主催する公民館市民活動団体の活動を支援する。	生涯学習課	生涯学習係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	生涯学習課が主催する公民館市民活動団体の活動を支援する。	生涯学習課が主催する公民館市民活動団体の活動を支援する。	生涯学習課が主催する公民館市民活動団体の活動を支援する。	A	A	

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考		
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期の視点からの事業期間の方向性	47の方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 ①中期の視点からの方向性(注:「実施・充実」は「継続」に含める。)	前期3年間の R3~7年度	後期3年間の R8~12年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の実施予定		S-計画を超過して達成 A-計画どおりに達成 B-実施したが計画を超過 C-未実施	左記の理由で評価 (A以外の場合のみ記入)
体系No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点からの事業期間の方向性	47の方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 ①中期の視点からの方向性(注:「実施・充実」は「継続」に含める。)	前期3年間の R3~7年度	後期3年間の R8~12年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の実施予定	S-計画を超過して達成 A-計画どおりに達成 B-実施したが計画を超過 C-未実施	左記の理由で評価 (A以外の場合のみ記入)	S-見込を超過した効果があった A-見込どおりの効果があった B-見込んだ効果に至らなかった C-評価に当てはまらない D-その他(必要に応じて備考欄に記入)	左記の理由で評価 (A以外の場合のみ記入)	備考
XYZ	N	XYZ-N																		
021	8	021-8	社会教育関係団体	社会教育関係団体の登録充実と支援本行など、市民への周知や環境を良くした学習機会への活用を図る。	生涯学習課	生涯学習係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A		
021	9	021-9	環境学習の推進(講師等の紹介)	学校の環境学習活動への派遣要請に対して講師等を紹介する。	指導室	指導主事	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A		
021	-	-	-	(上記の他に、基本目標1~7の各目標を達成して、市民活動体制の強化を図る。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

体系No.	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考	
							前年度(前年度)	後年度(後年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	Ⅰ-実績(Ⅰ)	Ⅱ-実績(Ⅱ)	Ⅲ-実績(Ⅲ)	Ⅳ-実績(Ⅳ)	Ⅴ-実績(Ⅴ)	Ⅵ-実績(Ⅵ)		Ⅶ-実績(Ⅶ)
<p>4つの方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」</p> <p>1. 実施・充実: 計画の進捗状況が良好で、目標達成に近づいている。</p> <p>2. 継続: 計画の進捗状況が良好で、目標達成に近づいている。</p> <p>3. 検討: 計画の進捗状況が良好で、目標達成に近づいている。</p> <p>4. 完了: 計画の進捗状況が良好で、目標達成に近づいている。</p>																					
022	1	011-2	環境フォーラム	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	令和5年度の進捗状況 A-継続(Ⅰ) B-継続(Ⅱ) C-継続(Ⅲ) D-その他	令和5年度の進捗状況 A-継続(Ⅰ) B-継続(Ⅱ) C-継続(Ⅲ) D-その他	計画に対する評価 A	計画に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	計画本文で記載しているため継続して改善されている。
022	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
030 総論(3) 環境政策 関係																					
031 政策的な情報発信																					
031	1	031-1	環境基本計画の周知啓発	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	令和5年11月に小冊子「環境基本計画」を作成し、環境フォーラム等で周知啓発を行う。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。	令和5年11月に小冊子「環境基本計画」を作成し、環境フォーラム等で周知啓発を行う。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。	計画に対する評価 A	計画に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	環境基本計画の周知啓発を行う(ホームページ、公共施設、環境フォーラム等のイベント等)。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。
031	2	031-2	「小冊子環境行動計画」の活用	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	令和5年11月に小冊子「環境基本計画」を作成し、環境フォーラム等で周知啓発を行う。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。	令和5年11月に小冊子「環境基本計画」を作成し、環境フォーラム等で周知啓発を行う。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。	計画に対する評価 A	計画に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	「小冊子環境行動計画」を活用する。(ホームページ、環境フォーラム等のイベント等)
031	3	612-2	市報での掲載・リサイクル特集記事	ごみ対策課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	市報「ごみ減量・リサイクル特集」に掲載する。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。	市報「ごみ減量・リサイクル特集」に掲載する。また、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。	計画に対する評価 A	計画に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	市報での掲載・リサイクル特集記事
031	4	611-1	政府ホームページ	健康課	健康係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、その効果等を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、その効果等を記載した環境報告書を毎年公表する。	計画に対する評価 A	計画に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	環境(効果)について考えてもらった。政府ホームページ上、関係団体・教育機関等とのネットワークを構築し、協力を求める。
031	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
032 環境情報の共有																					
032	1	032-1	環境報告書の公表	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、その効果等を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、その効果等を記載した環境報告書を毎年公表する。	計画に対する評価 A	計画に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	実績(効果)に対する評価 A	環境報告書の公表
032	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100 及びそのほか、次の頁を見る																					
101 及びそのほか																					
111 及びそのほかの安全																					

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考	
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	4年方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 （注）「完了」は「完了済」または「完了予定（年度）」のいずれかであること。 （注）「完了」は「完了済」または「完了予定（年度）」のいずれかであること。	前年度（R3～7年度）	後年度（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の実施予定		S-計画を超過して達成 A-計画どおりに達成 B-実施止めで計画未達成 C-未実施
体系No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	4年方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 （注）「完了」は「完了済」または「完了予定（年度）」のいずれかであること。 （注）「完了」は「完了済」または「完了予定（年度）」のいずれかであること。	前年度（R3～7年度）	後年度（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の実施予定	S-計画を超過して達成 A-計画どおりに達成 B-実施止めで計画未達成 C-未実施	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	S-見込を超過した効果があった A-見込どおりの効果があった B-見込より効果に乏しかった C-評価に値しない D-その他（必要に応じて備考欄に記入）	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）
XYZ	N	XYZ-N																	
111	1	111-1	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A	
111	2	111-2	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A	
111	3	111-3	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A	
111	4	111-4	環境政策課	緑と公園係	検討	適用	検討	検討	継続	継続	継続	継続	継続	A		B		B	
111	5	111-2	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D	A	D	A	
111	6	111-3	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D	A	D	A	
111	7	111-7	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A	

体系No.	事業や取組の概要			必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
	体系No.	事業等の名称	事業等の内容			所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	4700方向性:「実施・充実」(緑)「検討」(黄)	中期の視点から事業期間の方向性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の進捗予定	計画に対する評価	
体系No.	事業等の名称	事業等の内容	事業等の内容	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	4700方向性:「実施・充実」(緑)「検討」(黄)	中期の視点から事業期間の方向性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の進捗予定	計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	備考	
XYZ	N	XYZ-N																	
112	1	112-1	生産緑地地区の追加指定	国土交通省	国土交通省	生産緑地地区の追加指定	生産緑地地区の追加指定	生産緑地地区の追加指定	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	A	A		
112	2	112-2	農業者が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	農業振興係	農業者が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	農業者が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	農業者が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	A	A		
112	3	112-3	市民農園	経済課	農業振興係	市民農園の整備を進める。	市民農園の整備を進める。	市民農園の整備を進める。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	A	A		
112	4	112-4	高齢者農園	経済課	農業振興係	高齢者農園の整備を進める。	高齢者農園の整備を進める。	高齢者農園の整備を進める。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	A	A		
112	5	112-5	都市農地保全推進員協議会	経済課	農業振興係	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進員協議会において、都市農地の保全・活用に関する調査・研究を推進する。	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進員協議会において、都市農地の保全・活用に関する調査・研究を推進する。	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進員協議会において、都市農地の保全・活用に関する調査・研究を推進する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C	C	C		

体系No.	事業等のNo.	事業等の名称	事業等の内容	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考			
									中期の視点(2)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況			令和5年度の進捗予定		S-計画を超過して達成 A-計画どおりに達成 B-計画より遅く達成 C-未実施	S-見込を超過した効果があった A-見込どおりの効果があった B-見込んだ効果に至らなかった C-評価に当てはまらない D-その他(必要に応じて備考欄に記入)					
															前期3年(1)	前期4年(2)	前期5年(3)	A-継続(項目別の進捗)	実績(効果の有無)			A-継続(項目別の進捗)		左記の理由等(左記の場合のみ記入)		
XYZ	N	XYZ-N					(ない場合は「-」)																			
112	6	112-6	植農ボランティア	市内農家の作業を手伝い「植農ボランティア」を養成する。	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■植農ボランティア事業 参加者数：10人 指定者数：10人	令和5年度の進捗予定 A-継続(植農ボランティア)			A							
112	7	112-7	苗木無料配布	需要を支援するため、市内農家が生産する苗木の無料配布事業を実施する。	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■春の苗木：400本 ■秋の苗木：400本	令和5年度の進捗予定 A-継続(苗木の無料配布)			A							
112	8	112-8	農地回復と都市農地の設備付建造	「都市農地の設備付の円滑化に関する法律」の施行により、資源ある農地や新規就業者、また、市民農園を開設したいと考える団体の農家が生産農地を確保しやすいことから、農地回復と生産農地の設備付建造し、農地の活用を図る。	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■都市農地の回復の円滑化に関する法律による農地の復旧：1件(1,630㎡)	令和5年度の進捗予定 A-継続(都市農地の回復)			A								
112	9	112-9	学童収穫体験事業	市内小学校を対象とした収穫体験事業への支援を行い、土に繋がる喜びと作物収穫の感動と農家への理解を促進する。	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■学童収穫体験事業 参加者数：1,915人	令和5年度の進捗予定 A-継続(学童収穫体験)			A								

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	4年方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 （中期的視点からの方向性は、「実施・充実」「継続」「検討」「完了」の順に優先順位を決定し、「実施」以外の項目は「実施」に含めず記載。）	前年度（R3～7年度）	事業2年（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	今年4年度実施状況	令和5年度の業務予定	
XYZ	N	XYZ-N																
112	10	112-10	イベントを通じた交流機会の拡大	農産物等のイベントを通じた交流を促進する。	経済課	農産部関係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A
112	11	112-11	地場産野菜を活用した料理講習会	一日生活教室を通じ、地場産野菜を促す料理講習会を実施する。	経済課	農産部関係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C		C		-（評価に含めない）
112	12	112-12	学校給食地場産野菜の活用	学校給食の地場産野菜の導入率を高めるため、栄養士と農家の打合せ等の調整について協力する。	経済課	農産部関係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A
112	13	112-13	環境保全型農産物の生産	東京都江戸産産物認証制度を利用し、減農薬・減化学肥料に配慮する。	経済課	農産部関係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		B		B

120. 水の供給
121. 公園・緑地の創出・活用

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考		
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期の視点(中期の方向性)	4つの方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 ①中期の視点(中期の方向性)②中期の視点(中期の方向性)③中期の視点(中期の方向性)④中期の視点(中期の方向性)					令和4年度実施状況				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価	
								A-実施中 B-未実施 C-完了/中止 D-その他	左記の理由や特 徴(A以外の場合 のみ記入)	当該事業の動向 実績(達成可)	実績 (達成不可)	左記の理由や特 徴(A以外の場合 のみ記入)	令和5年度の進捗予定	S-計画を超過して 達成 A-計画どおりに 達成 B-実施止まり計 画へ未達成 C-未実施	S-見込を超過した効果があった A-見込どおりの効果があった B-見込込んだ効果に至らなかった C-評価に該当しない D-その他(必要に応じて備考欄に記入)					
体系No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点(中期の方向性)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	①-実施中 ②-実施中止 ③-実施中止 ④-実施中止	実績(達成可)	実績(達成不可)	左記の理由や特 徴(A以外の場合 のみ記入)	令和5年度の進捗予定	S-計画を超過して 達成 A-計画どおりに 達成 B-実施止まり計 画へ未達成 C-未実施	S-見込を超過した効果があった A-見込どおりの効果があった B-見込込んだ効果に至らなかった C-評価に該当しない D-その他(必要に応じて備考欄に記入)			
XYZ	N	XYZ-N																		
121	1	121-1	公園等の適切な維持管理	児童遊園・子供広場・緑地・都市公園の維持管理を行う。	環境政策課 緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市内223箇所の公園等で安全上支障となる樹木は、剪定を実施した。剪定対象の樹木は、指定業者が行った。剪定対象の樹木については、剪定状況を確認し、必要に応じて223箇所すべての作業記録を把握した。	223箇所の公園等において、安全上支障となる樹木は、指定業者が行った。剪定対象の樹木については、剪定状況を確認し、必要に応じて223箇所すべての作業記録を把握した。	A	A				
121	2	121-2	新たな公園等の整備	優先的に整備が必要な小長久保公園、三菜公園、鹿野公園及び(仮称)東小倉井状土地に公園整備事業を推進する。	環境政策課 緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	三菜公園及び(仮称)東小倉井状土地の公園整備事業を進めた。	三菜公園のトイレ整備は、契約不調等の発生により、令和5年度に実施した。	A	A				
121	3	121-3	指定管理者制度等の民間活力導入	都市公園の魅力向上のため、指定管理者制度等の民間活力の導入を検討する。	環境政策課 緑と公園係	検討	実施	検討	検討	検討	継続	継続	A	指定管理者制度等の民間活力導入について、関係機関と協議を進めた。	令和5年度に指定管理者を決定し、事業開始に向けた協議を進め、必要に応じて実施する。	A	A			
121	4	121-4	低木利用公園等の整備	利用客数の少ない公園等について土地利用促進を目的に低木利用について検討する。	環境政策課 緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	低木を植栽及び剪定作業(2)目録に記載の公園等において、低木利用促進のための検討を進めた。	公園周辺の自治会や地域住民への丁寧な説明を徹底し、必要に応じて実施する。	A	A			
121	5	121-5	小・中学校の運動場等主幹管理	小・中学校(6校)の運動場等主幹管理を進める。	庶務課 施設係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	小・中学校(6校)の運動場等主幹管理を進めた。	メンテナンスの計画による地域連携と安全管理を徹底した。	A	A			
121	6	312-4	学校花壇・花壇・七トーフ等の緑地管理	学校花壇、花壇、七トーフ等の緑地を適正に維持管理する。	庶務課 庶務主事	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	学校花壇や花壇、七トーフ等の緑地を適正に維持管理した。	児童・生徒の取組で緑地が整備された。	A	A			
121	7	121-7	公共施設の新設・改修工事における緑化	公共施設の新設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A	小倉井市環境整備課に委託し、小倉井市の各公共施設において、緑化率を20%以上の緑化を設計に反映した。	令和4年7月25日に竣工した小倉井市の各公共施設において、緑化率を20%以上の緑化を設計に反映した。	A	A			旧中野地区緑地等に整備する緑地管理施設は、令和7年3月25日の竣工を目指して、施設建設と併せて、緑地等を整備する予定である。
121	7	121-7	公共施設の新設・改修工事における緑化	公共施設の新設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A	-	推進中	A	A			

体系No.	事業や取組の概要					必要に応じて		実施計画					毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
	体系No.	事業等の番号	業務等の名称	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性		4年方向性:「実施・充実」(緑) 「完了」(黄) 「予定」(白) 「未定」(赤) 「不明」(紫)					令和4年度実施状況		令和5年度の実績予定		計画に対する評価	計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価			
								前年度(前年度)	後年度(後年度)	左記の理由等 (A以外の場合のみ記入)	当該事業の動向 実績(効果)	実績(効果)	左記の理由等 (A以外の場合のみ記入)	計画に対する評価	計画に対する評価										
XYZ	N		XYZ-N					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A	実績(効果)			A	計画に対する評価	計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価				
121																									
	7		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化を促進する。	公共施設等の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課	-	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続											
122 みどりや緑のまちづくりの推進																									
	1		122-1	環境配慮型建築の促進(屋上緑化・壁面緑化)	環境配慮型建築の1.緑化の促進に関する規定を制定し、屋上緑化・壁面緑化も緑化施策に含まれることを見通す。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続					A	計画に対する評価	計画に対する評価	A			
	2		122-2	緑化施策に関する規定の制定	緑化促進に関する規定を制定し、緑化施策に含まれることを見通す。また、緑化施策の推進に関する規定も制定する。	環境政策課	緑と公園係	制定・運用	継続	検討	検討	継続	継続	継続					A	計画に対する評価	計画に対する評価	A			
	3	費債	111-3	緑化の手引きの作成	緑化に関する規定を制定し、屋上緑化・壁面緑化も緑化施策に含まれることを見通す。また、緑化施策の推進に関する規定も制定する。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0			A	0	A	A			
	4		122-4	緑化の手引きの作成	事業費・市費に支出した緑化の手引きを作成し、緑化手法や維持管理に関する技術等の情報提供を行う。	環境政策課	緑と公園係	作成・運用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A				A		A	A			
	5		122-5	緑地の管理	都市計画道路等の敷地内では、歩道に緑地帯等を設け、緑地の機能を確保する。景観形成機能や生物多様性の向上等の観点からも、緑地の適切な管理を進める。	緑地管理課	工務係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	A			
130 みどりや緑を創出し、暮らしの質を向上させる																									
131 みどりや緑を創出し、暮らしの質を向上させる																									
	1		131-1	みどりに関する情報発信	みどりの基本計画、みどりの実態調査、ガーデン等に関する情報発信を行う。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	A			
	2	費債	131-2	環境市民会議によるみどりの調査の実施	環境市民会議によるみどりの調査に対する支援を行う。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0			A	0	-	-			
	3		131-3	環境学童の充実	小中学生や子育て世代を対象とした環境学童の充実を図る。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	A			

体系No.	事業や取組の概要			必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考		
	事業毎の事業No.	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	4つの方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 ①「計画期間中に完了した事業」「継続実施(継続)」②「事業期間中に完了した事業」「継続実施(継続)」③「計画期間中に完了した事業」「継続実施(継続)」④「計画期間中に完了した事業」「継続実施(継続)」					令和4年度実施状況		令和5年度の進捗予定		計画に対する評価		実績に対する評価	実績(効果)に対する評価
									A-実施中 B-未実施 C-完了/中止 D-その他	左記の理由や特 異(A以外の場合) のみ記入)	当該事業の進捗 実績(達成可)	実績 (効果や課題)	A-継続(個口 別の進捗) B-拡大・新 規 C-縮小・中止・ 完了	左記の理由や特 異(A以外の場合) のみ記入)	計画に 達成 A-計画ど の通り B-実施 計画より 進捗 C-未実施						
XYZ	N	XYZ-N																			
132	1	132-1	環境美化サポーター制度(公園)	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
132	2	132-2	花壇ボランティア(指定ボランティア)の育成	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
132	3	132-3	公園サポーター会議開催の検討	環境政策課	緑と公園係	検討	拡大	検討	検討	継続	継続	継続	A			A		A			
132	4	132-4	民間に委託できるボランティア制度の検討	環境政策課	緑と公園係	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A			A		A			
132	5	132-5	ボランティアに関する新たな導入確保	環境政策課	緑と公園係	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A			A		A			
132	6	132-6	花壇ボランティアによる屋上庭園の開設	地域福祉課	福祉企画担当	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B			未定					
200	地下水・湧水・河川の保護等を推進する																				
210	地下水・湧水の保全																				
211	地下水・湧水等のモニタリング																				

体系No.	事業等の名称	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
								R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和5年度の進捗状況				計画に対する評価	実績に対する評価			
													A-実施中	B-未実施	C-完了・中止	D-その他			左記の理由や詳細(A以外の場合のみ記入)	実績(効果)の有無(効果あり/効果なし)	
XYZ	N	XYZ-N				(ない場合は「-」)															
211	1	211-1	水質監視測定	市内井戸の水質測定を行い、地下水保全会議等を通じて結果を分析・公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
211	2	211-2	湧水調査	市内の湧水調査(水質調査、底生生物調査、付着藻類調査)を行い公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
211	3	211-3	湧水測定見学会等	湧水測定の見学会等を行う。	環境政策課	環境係	準備検討	検討	検討	継続	継続	継続	C	実施検討中		C	検討中のため、実施していないから。	- (その他)	未実施		
211	4	211-4	自動記録計設置による地下水測定	市の管理する井戸および所有新し許可を得た井戸に自動記録計を設置し、連続して水位測定を行う。	環境政策課	環境係	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	C	実施検討中		C	検討中のため、実施していないから。	- (その他)	未実施		
212. 住宅地帯における地下水浸透の促進																					
212	1	212-1	雨水浸透施設等設置促進交付事業	雨水浸透しやすい施設について、市民に対する支援の啓発活動を行い、設置の協力をお願いし、助成金を交付する。また、助成対象は令和5年8月以前に建築された建物である。	下水道課	業務課係長	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
212	2	212-2	雨水浸透ます設置工事	道路上に雨水浸透ますを設置することにより、下水道への雨水流入を抑制する。	下水道課	工務課係長	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
212	3	212-3	歩道における透水性舗装	歩道舗装を透水性舗装にすることで、道路雨水の浸透を促進する。	道路管理課	工務係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
213. 開発事業等における地下水への影響の未然防止																					
213	1	213-1	環境配慮計画書	開発工事事業者・市民等に地下水保全条例の周知を図る。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			
213	2	213-2	地下水保全会議の開催	開発事業等による地下水への影響について、ポータルサイト等から状況を把握するとともに、掘削などの掘削業者が地下水保全会議を開催を促す。必要に応じて地下水の配管を求めるとして掘削の未然防止を図る。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A		該当がある場合のみ、対応する必要が認められる。	
214. 掘削をはじめ雨水浸透を促すための保全																					
214	1	214-1	掘削等掘削のみのみの保全	掘削等掘削のみのみの保全	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A			

体系No.	事業や取組の概要				必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考		
	事業No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名			担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	4つの方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 ①「計画期間中に完了した」と「実施期間(終了)」の両方に当てはまる「実施」「継続」「完了」(順に1-3)を記入					令和4年度実施状況		令和5年度の進捗予定		計画に対する評価	実績に対する評価		実績(効果)に対する評価	
									A-実施中 B-未実施 C-完了(廃止) D-その他	左記の理由や特 徴(A以外の場合 のみ記入)	当該事業の動向 実績(継続可)	実績 (効果や課題)	A-継続(概 略) B-概略(概 略) C-中止・ 完了	左記の理由や特 徴(A以外の場合 のみ記入)	計画を超過して 達成 A-計画どおりに 達成 B-実施し方が計 画より進 C-未実施	左記の理由や特 徴(A以外の場合 のみ記入)	S-見込を超過した効果があった A-見込どおりの効果があった B-見込より効果に乏しかった C-評価に値しない D-その他(必要に応じて備考欄に記入)					
XYZ	N	XYZ-N				前期3年(前3-7年度)	中期3年(前8-12年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	Q1-実施中	Q2-実施中	Q3-実施中	Q4-実施中	A-継続(概略)	B-中止・完了	計画に対する評価	実績に対する評価	実績(効果)に対する評価	
214	2	214-2	遊歩道でのイベント開催	特別緑地保全地区に指定されている遊歩道等も、市民参加のイベントを開催する機会となるようイベント開催等を通じて周知を図る。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A		A	
214	3	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の推進を支援する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	0	0	0	0	0			
220 河川環境の保全																						
221 水質汚濁の発生防止																						
221	1	221-1	下水道法による水質規制	法等に基き排水の監視及び立入検査を実施する。	下水道課	業務設備係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A		A	
221	2	221-2	雨水浸透施設等設置補助金交付事業	雨水浸透施設の設置について、市民に対する支援の体制を整え、設置の協力をお願いし、助成金を交付する。また、設置が完了した施設は8月以前に建築された建物である。	下水道課	業務設備係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0			A	0	A		A	
221	3	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置補助制度の広報を進める。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	0	0	A	0	A		A	
222 水辺に親しめる機会の充実																						
222	1	011-3	ワンズ野川中橋	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一貫連携などを定期的に実施する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B				B	0	B		B	新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。代替でフィールドワークを行った。
223 近隣住民との関係強化と連携																						
223	1	223-1	野川流域連絡会への参加	野川流域連絡会(事務局:東高郡建設部)へ参加する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A		A	野川流域の環境に係る連携や整備等に資する協議を行った。
223	2	223-2	野川流域環境保全協議会への参加	6市区(本市、鎌分市、三郷市、調布市、加江市、世田谷区)で構成される野川流域環境保全協議会へ参加する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A		A	野川流域の環境に係る連携や整備等に資する協議を行った。
223	3	223-3	多摩川流域協議会への参加	3郡県30市区町村で構成される多摩川流域協議会へ参加する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A		A	野川流域の環境に係る連携や整備等に資する協議を行った。
230 水質の維持管理																						
231 日常生活における雨水利用や節水の推進																						

体系No.	事業等の名称	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考			
								前年度(前年度)	前年度(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況		令和5年度の実施予定		計画に対する評価	計画に対する評価		実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価	
															A-継続(償口削減の措置)	B-拡大(新たな取組)	C-縮小(中止・完了)	A-継続(償口削減の措置)						B-拡大(新たな取組)
XYZ	N	XYZ-N					4700の方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 【注】「完了」は「完了」を意味する。【注】「完了」は「完了」を意味する。【注】「完了」は「完了」を意味する。																	
231	1	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置補助制度の広報を進める。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		3基に補助金を交付した。	A		A		A			
231	2	231-2	雨水貯留施設の取組	環境行動計画の取組を進め、雨水貯留施設の取組を促進する。また、雨水貯留施設の取組を促進する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境行動計画の取組を進め、雨水貯留施設の取組を促進する。また、雨水貯留施設の取組を促進する。	A		A		- (その他)	市民の意識調査の実施は取組した。		
231	3	231-3	雨水利用に関する啓発	雨水利用に関する啓発をホームページに掲載する。	環境政策課	環境係	継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		パンフレット「雨水利用のすすめ」をホームページに掲載した。	A		A		- (その他)	市民の意識調査の実施は取組した。		
231	4	231-4	雨水利用に関する外部との情報交換	雨水利用の現状や課題を把握するため、外部との情報交換を行う。	環境政策課	環境係	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A		- (評価になじまない)			
232. 災害対策に関する事業の進捗																								
232	1	232-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置補助制度の広報を進める。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	3基に補助金を交付した。	0		A	0	A		A	
232	2	232-2	非常災害用井戸の管理	非常災害用井戸を適切に設置・管理する。	地域安全課	防災消防係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和5年2月に、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置補助制度の広報を進める。	A		A		A		A	
232	3	232-3	防災対策用井戸の管理	防災対策用井戸を適切に設置・管理する。	地域安全課	防災消防係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和5年2月に、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置補助制度の広報を進める。	A		A		A		A	
300. 都市の生物多様性を育む																								
310. 生物多様性の保全																								
311. 生物多様性に関する事業の進捗																								
311	1	311-1	湧水調査	市内の湧水調査(水質調査、底生生物調査、付着藻類調査)を行い公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	報告書ホームページに掲載した。	A	0	A		A		A	
311	2	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の開催を整理し、共有する。	環境政策課	環境係	検討・継続	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		令和4年度実施の自然観察会を開催し、共有した。	A		A		A		A	
312. 生物の生態・生息環境の保全・調査																								

体系No.	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
							前年度(前年度)	後年度(後年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和5年度の進捗状況				計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	
														A-継続(値上げあり)	B-拡大(新設)	C-縮小(廃止)	D-その他			
XYZ	N	XYZ-N																		
312	1	312-1	公園等における緑木の適定	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			C		A		
312	2	312-2	野川自然再生事業	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		- (評価にない)	
312	3	312-3	緑化取得における在来種導入	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	
312	4	312-4	学校花壇・周縁・七ヶ一ツ等の適正な維持管理	指導室	指導主事	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	
313 外來種対策の推進																				
313	1	313-1	アライグマ・ハクセンの防除	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	
313	2	313-2	外来植物駆除	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	
313	3	313-3	生物多様性の普及啓発	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A	

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次（前期）					毎年度の進捗管理における記入欄				計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考						
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	47の方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」の方向性（※「完了」は「完了」の方向性から移行し、「実施・充実」「継続」「検討」の方向性へ移行する）	前年度（R3～7年度）	後年度（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度				R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の実施予定		
体系No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	47の方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」の方向性（※「完了」は「完了」の方向性から移行し、「実施・充実」「継続」「検討」の方向性へ移行する）	前年度（R3～7年度）	後年度（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A-実施中 B-未実施 C-完了 D-その他	左記の理由や特異点（A以外の場合のみ記入）	当該事業の進捗実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	左記の理由や特異点（A以外の場合のみ記入）	計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価	備考
XYZ	N	XYZ-N																				
320. 自然環境の持続的発展																						
321. 自然についても知る機会創出																						
321	1	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	環境政策課	環境係	検討・継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	0	0	0	A	A		
321	2	緑の環境教育	市内の公立小学校と連携し自然に親しむが、緑の環境教育を推進する。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		身近な小中学校の緑の環境教育を実施し、市内の小学生を対象として、緑の環境教育の推進を図る。	中学生対象の緑の環境教育も実施する。	A	A			
322. 自然と暮らしを両立させる機会の創出																						
322	1	自然と暮らしを両立させる機会の創出	市民・事業者・市民団体等と行政が協働し、河川の一貫清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		令和4年度実施の野川環境フェスティバルを実施し、市民団体等と協働して清掃活動を行った。		B	B	令和4年度実施の野川環境フェスティバルを実施し、市民団体等と協働して清掃活動を行った。		
322	2	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	食農課係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	令和4年度実施の市民農園整備事業を実施し、市民農園の整備を進める。令和4年度は、市民農園の整備を進めるため、市民農園の整備を進める。令和4年度は、市民農園の整備を進めるため、市民農園の整備を進める。		A	A			
322	3	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境テーマとする講座等を開催する。	公民館		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	市民農園、成人学校、市民講座等において環境テーマとする講座等を開催する。		A	A			
322	4	田んぼの体験	東京学芸大学が主催する体験田んぼに、環境市民農園（環境学習部会）が参加し、市民農園の整備を進める。田んぼの体験を通じて、広域等の支援を行う。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C		令和4年度実施の市民農園整備事業を実施し、市民農園の整備を進める。令和4年度は、市民農園の整備を進めるため、市民農園の整備を進める。		B	B	令和4年度実施の市民農園整備事業を実施し、市民農園の整備を進める。令和4年度は、市民農園の整備を進めるため、市民農園の整備を進める。		
322	5	自然と暮らしを両立させる機会の創出	自然と暮らしを両立させる機会の創出	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和4年度実施の市民農園整備事業を実施し、市民農園の整備を進める。令和4年度は、市民農園の整備を進めるため、市民農園の整備を進める。		A	A			

体系No.	事業等の名称	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
								R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計画達成率	計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価					
体系No.	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計画達成率	計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価	備考		
XYZ	N	XYZ-N				(ない場合は「-」)													[次年度以降の申し込み事項を必要に応じて記載]		
322	6	322-6	市民団体等が行う自然と親しめるイベント(自然観察会、生物観察等)への支援(協力を行う)	環境政策課	緑と公園係	準備(市民団体との関係構築(ツグツグ等))	実施	検討	検討	継続	継続	継続	A					A	野田自然の会、小倉市自然観察会から実施申請があれば実施。近年の申請実績はない。対応体制の整備が不十分。今後の調査調査は緑と公園係との連携あり。[R3年3月、所管課訪問]		
322	7	322-7	自然観察会等の情報発信	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A					- (その他)	該当があった場合のみ実施するものとする。		
400 安全・安心で暮らしに誇りを感じる生活環境を守る																					
410 大気汚染や騒音などの生活環境を改善する																					
411 事業活動等における公害の発生防止																					
411	1	411-1	公害関係法令に基づく規制・指導	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A					A			
411	2	411-2	小倉市小口事業資金助成金(特定金融機関からの融資を受けた際の利子及び保証料の一部を補助する)	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		0件	当該融資メニューの認知を促す。		B	新設3Dパライズ補助金導入による。事業資金の申込みを行う事業者が限られたことの影響が考えられる。	引き続き、ホームページやパンフレット、市報など、当該課長の周知を行い、申込み件数を増やすよう努める。	
411	3	411-3	アスベスト除去等作業実施助成金交付(2000㎡以下)と埋蔵金引き当り	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		大助法届出: 1件 作業実施届出: 102件			A			
411	4	411-4	土壌・地下水汚染対策の調査	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			パンフレット等による周知			A		
412 自転車由来の騒音や排気ガス等の低減																					
412	1	721-1	小倉市エコドライブ(CoCo/Co2)を運行する。また、運行モードの見直しや連携の強化を図る。	交通対策課	交通対策係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	地域公共次期会議4回開催	CoCo/Co2再編計画及びマイドライブを決定し、再編運行開始に向けた準備を進めている。		A	B		
412	2	721-2	公共自転車駐車場の整備	交通対策課	交通対策係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	公共自転車駐留場整備計画に基づき、公共自転車駐留場の整備を進めている。また、公共自転車駐留場の整備を進めている。	公共自転車駐留場の整備を進めている。また、公共自転車駐留場の整備を進めている。	B	公共自転車駐留場の整備を進めている。また、公共自転車駐留場の整備を進めている。	公共自転車駐留場の整備を進めている。また、公共自転車駐留場の整備を進めている。		
412	3	412-3	グリーン購入の推進	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		車両2台購入	車両が古くなったため購入		A	B	環境負荷の少ない車両を購入・維持するための予算・取組がないため	
412	3	412-3	グリーン購入の推進	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		庁用車を保有していないため	-	C	庁用車を保有していないため	C	庁用車を保有していないため	

体系No.	事業や取組の概要		事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	実施計画					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価	実績(効果)に対する評価		備考
	事業等の種類	取組No.						前年度(前年度)	中期(3年程度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	進捗状況	実績		計画との乖離	計画に対する評価	
体系No.	事業等の種類	取組No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期的視点	中期(3年程度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	進捗状況	実績	計画との乖離	計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	備考	
XYZ	N	XYZ-N	グリーン購入の推進	公用車の買い換える際は、グリーン購入ガイドラインに基づき環境負荷の少ない車両を導入する。	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	D						
413 産業-化学物質_その他の環境汚染物質対策																				
413	1	413-1	有害物質の排出削減	広範囲の有害物質を削減し、除去剤や吸着剤の適正使用を推進する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	2	413-2	汚染物質検査	汚染物質検査に対し補助を行い、低炭素で安全な汚染物質を推奨する。	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	3	413-3	化学物質に関する情報提供	Web制度(広域)「化学物質管理システム(都道府県)」上でも、化学物質管理/事業所に利用可能な情報を求める。また、化学物質の規制状況に関する情報をホームページ等により提供する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	4	413-4	シックハウス状況調査	公共施設(市庁舎等)におけるシックハウス等の調査実施の促進。必要に応じてシックハウスの状況の調査測定を行う。	保健課	保健係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	5	413-5	シックハウス状況調査	市立小・中学校におけるシックハウス等の調査実施の促進。必要に応じてシックハウスの状況の調査測定を行う。	学務課	保健給食係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	6	413-6	空間放射線量の測定	認可保育所、幼稚園等における空間放射線量の測定結果をホームページ等により情報提供する。	保健課	保育係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	7	413-7	空間放射線量の測定	児童館、子育て支援センター等における空間放射線量の測定結果をホームページ等により情報提供する。	児童青少年課	子育て係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	8	413-8	空間放射線量の測定	市立小・中学校における空間放射線量の測定結果をホームページ等により情報提供する。	学務課	施設係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						
413	9	413-9	給食用食料の放射線量測定	給食用食料に含まれる放射性物質の測定を行い、測定結果をホームページで公表する。	地域安全課	防災消防係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)							毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価	実績(効果)に対する評価		備考
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期の視点(R3~7年度)	中期の視点(R3~7年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況	令和5年度の進捗予定		計画に対する評価	実績(効果)に対する評価	
XYZ	N	XYZ-N																	
413	10	413-10	食品の放射能測定	希望する用途に対し、食品の放射能測定も、小委員が放射能測定装置運送調整協議会との協働で実施する。	経済課	消費生活係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
413	11	413-11	放射線量測定器の貸出	空間放射線量を測るための放射線測定器を希望する市民へ貸出する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
30 放射能と放射線のモニタリング																			
31 大気汚染や騒音などの継続的な環境モニタリングと情報発信																			
421	1	421-1	マイケンシミュレーション	大気中のマイケンシミュレーションの調査を毎年実施し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
421	2	421-2	住宅や道路における酸化窒素の測定	住宅地や交差点において、自動車排気ガスに由来する二酸化窒素濃度を測定（簡易測定器）し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
421	3	421-3	大気中の浮遊粒子状物質の測定	大気中の浮遊粒子状物質の調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
421	4	421-4	道路における騒音・振動調査	市内の道路において、騒音・振動調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
421	5	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報に記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	0	A	A		
32 安全・安心のための暮らしのサポート																			
422	1	422-1	危機管理・防災への対応能力向上	国・都府県の研修制度を利用し、危機管理・防災に対する対応方法を向上を図る。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
300 各区住みかたのまちづくり																			
310 環境保全・緑化に関する取組の実施																			
511	1	511-1	地区まちづくりの推進	「小倉井まちづくり条例」に規定される、地区まちづくり計画（協議会、まちづくり協議会）に基づき、まちづくり協議会、まちづくり協議会等との協働で実施する。	まちづくり推進課	まちづくり係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	B	支援対象となる申請がなかった。	
312 高齢者や障害者等に対する取組の実施																			
512	1	512-1	小倉井市五川上水・小倉井移設整備活用推進委員会	「小倉井市五川上水・小倉井移設整備活用推進委員会」を開催する。委員会の意見を踏まえ、五川上水及びその周辺環境を保全する。	生涯学習課	文化財係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		
512	2	512-2	五川上水・小倉井移設整備活用推進委員会	「小倉井市五川上水・小倉井移設整備活用推進委員会」を開催する。委員会の意見を踏まえ、五川上水及びその周辺環境を保全する。	生涯学習課	文化財係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A	A		

体系No.	事業等の名称	事業等の種別	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
								前年度(前年度)	前年度(前年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計画達成率	計画達成率	実績(効果)	実績(効果)			
XYZ	N	XYZ-N					4つの方向性:「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 1.計画達成率(%)を90%以上とする。2.事業期間(年度)の進捗率(%)を90%以上とする。3.計画達成率(%)を90%以上とする。4.計画達成率(%)を90%以上とする。														
512	3	512-3	まちなか観光案内	市民ボランティアの協力を得て行うまちなか観光案内、市内の観光スポットをめぐり、観光客のニーズに応じた観光案内を実施する。	経済課	産業振興係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A			
512	4	512-4	重要な文化遺産の保護・活用	重要な文化遺産は、文化財に指定し、保護・活用を図る。また、情報発信として文化財センターの他、まちなか歴史ミュージアム事業を展開する。	生涯学習課	文化財係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A			
521	1	521-1	定期的なパトロールの実施等	定期的なパトロールを実施し、不法投棄・燃焼・ポイ捨て禁止等の啓発看板を設置する。	こけり対策課	清掃係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A			
521	2	521-2	屋外広告物のデザイン向上に関するパンフレットの作成	屋外広告物のデザイン向上に関するパンフレットを作成し配布する。	道路管理課	道路管理係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A			
521	3	521-3	環境美化ポスター制作(図説)	小金井市環境美化ポスター制度実施要綱による環境美化ポスター制作や啓発向上を図る。	道路管理課	道路管理係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A			

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて		実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考			
	体系No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期的視点から事業期間の方向性	47%の方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」 （計画期間中に完了しないものは「継続」「検討」「完了」の順に記入し、計画期間中に完了しないものは「継続」「検討」「完了」の順に記入）					令和4年度実施状況				令和5年度の進捗予定		計画に対する評価	実績（効果）に対する評価				
							前年度実績（R3～7年度）	後年度計画（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A-継続（値上げあり） B-継続（値上げなし） C-完了・廃止 D-その他	左記の理由や特筆事項（A以外の場合のみ記入）	当該事業の進捗実績（継続）	実績（効果や課題）				A-継続（値上げあり） B-継続（値上げなし） C-未実施 D-未実施	左記の理由や特筆事項（A以外の場合のみ記入）	
XYZ	N	XYZ-N																					
521	4	132-1	「小倉市市場環境美化ポーター制度実施要綱」に基づき環境美化ポーター制度の活用促進を図る。また、公道に設置する環境美化ポーターについては、用具の提供や業務補助費手続の免除の支援を行うこととし、ポスター類の掲示や交換会を定期的に実施する。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D			A	D	A				
521	5	521-5	公道に設置する環境美化ポーターの設置状況を把握し、良好な都市環境を維持する。	交通対策課	交通対策係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D			A	D	A			
522. まちの魅力を向上																							
522	1	111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小倉市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定することにより、緑化の推進を図る。	環境政策課	緑と公園係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D			A	D	A			
522	-	-	-	（上記内容が、基本目標に示した緑化の推進に資する効果がある。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
600. 3次産業で価値を創出する																							
610. 第三産業を振興するための取組																							
611. 日本企業における取組																							
611	1	611-1	教育事業	健康課	健康係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D			A	D	A			
611	2	611-2	生ごみ減量化処理機	生ごみ減量化処理機購入する事業、団体、事業所に対し、購入費の一部を補助する。市、町、市町-ムベ-等による制度を位、周知する。	ごみ対策課	清掃係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D			A	D	A		
611	3	611-3	不用品交換コーナー	家庭で使わなくなった物を譲りたい方、譲ってほしい方を利用して、処分費の削減を図る。不用品交換コーナー（仮二回会4回）の取組を推進する。	経済課	消費生活係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D			A	D	A		

体系No.	事業等取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期の視点(中期の視点)	中期の視点(中期の視点)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計画4年度実施状況	計画5年度の実施予定	S-計画を越えて達成	S-計画を越えて達成	
体系No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点(中期の視点)	中期の視点(中期の視点)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A-継続(継続)	B-一部継続(一部継続)	C-未実施(未実施)	S-計画を越えて達成	S-計画を越えて達成	S-計画を越えて達成	S-計画を越えて達成
XYZ	N	XYZ-N																
611	4	611-4	小倉井市消費生活センター	消費生活係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A	
611	5	611-5	生ごみ処理事業	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B			A		A	
611	6	611-6	指定地のパブリック施設	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A	
611	7	611-7	緑のサイクル(巡回)	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A	
611	8	611-8	指定校・高専・短大	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A	
611	9	611-9	指定校・高専・短大	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A	
612. 分別収集を推進する啓発活動の強化																		
612	1	612-1	清掃指導員(市職員)	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			A		A	

体系No.	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考		
							前年度(前年度)	後年度(後年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況				計画に対する評価	計画に対する評価		実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価
														A-実施中	B-未実施	C-完了済止	D-その他					
XYZ	N	XYZ-N			(ない場合は「-」)																	
612	2	612-2	市販でのごみ減量・リサイクル特集記事	ごみ対策課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A				
612	3	612-3	ごみ減量キャンペーンとして、各種イベント開催での呼びかけ、啓発グッズ作成・配布等を行う。	ごみ対策課	減量推進係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A				
612	4	612-4	ごみリサイクルカレンダーの発行	ごみ対策課	清掃係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A						A				
612	5	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配布	ごみ対策課	清掃係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A				
612	6	612-6	ごみ分別に関する市民講座	ごみ対策課	減量推進係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A				
612	7	612-7	ごみ分別に関する市民見学会	ごみ対策課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B				-		-				
612	8	612-8	ごみ減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗をリサイクル推進協力店として認定し、市販やホームセンター等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	減量推進係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A				A		A				

体系No.	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄					計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
							前年度(前年度)	後年度(後年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況			令和5年度の実施予定		計画に対する評価	実績に対する評価	
														A-実施中	B-未実施	C-完了	A-継続(恒久的な効果)	B-拡大・新設(追加効果)			
XYZ	N	XYZ-N			(ない場合は「-」)																
<p>619. 事業活動における決の推進</p> <p>613 1 613-1 排出状況調査等 事業所の排出状況調査及び分別等の指導を行う。 2件</p> <p>613 2 613-2 資源回収率向上取組 資源回収率向上取組の推進を図る。 1件</p> <p>620. 安全・安心・定着性の確保に関する推進</p> <p>621. 地域と連携した取組・連携の推進</p> <p>621 1 621-1 スマートフォン用ゴミ分別アプリの配布 スマートフォンなどでの電目印分別方法の普及を図る。 5,938件</p> <p>621 2 621-2 環境負荷の少ないゴミ収集車への更新 環境負荷の少ないゴミ収集車を導入する。 1台</p> <p>621 3 621-3 分別回収事業 分別回収事業の推進を図る。 1件</p> <p>622. 適切な資源・廃棄物の推進</p> <p>622 1 622-1 資源回収率向上取組 資源回収率向上取組の推進を図る。 1件</p>																					

体系No.	事業等の名称	事業等の番号	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	実施計画(前年)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考
								実施計画					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		
								前年度(前年度)	後年度(後年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計画に対する評価	実績に対する評価	実績(効果)に対する評価	実績(効果)に対する評価			
XYZ	N	XYZ-N																			
622	2	622-2	中間処理施設の運営	中間処理施設において、不燃系ごみの資源化処理を進める。	ごみ対策課	施設係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A		日中期間増設施設を整備する資源物処理施設は、令和7年3月21日の竣工を目前にしている。施設建設と併せて、緑地帯を整備する予定である。	
622	3	622-3	清掃関連施設整備事業	清掃関連施設整備基本計画に基づき、清掃関連施設(不燃・粗大系、プラスチック、フィルム・ペト系系、布等の資源物系)の整備を進める。	ごみ対策課	減量推進係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A		日中期間増設施設を整備する資源物処理施設は、令和7年3月21日の竣工を目前にしている。施設建設と併せて、緑地帯を整備する予定である。	
623	商業物産管理を支える体制の確立																				
623	-	-	-	〔基本目標〕(本取組)は、関係機関等事業者と情報共有、事業コスト管理、現場見学の有効活用等を通じて支える体制の確立・維持を図る。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
700	上の人手不足(個人、経歴等)を解消する																				
710	課題・事業所における経歴等の把握																				
711	高齢者の就業促進																				
711	1	711-1	住宅用新築工事補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の取組を支援する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		A		A			
711	2	711-2	小倉市市職改善資金貸付金制度	小倉市市職改善資金貸付金制度により、居住する職員の就業促進等の取組を支援する。特定金融機関を通じて、その資金の一部を貸付に活用する。	子育て推進課	住宅係	見直し検討	見直し検討	検討	検討	検討	検討	検討								令和4年4月1日付の制度廃止の対応が必要
711	3	711-3	職工改修工事に伴う特定高度税の減額	一定の要件を満たす職工改修工事(助産師改修工事)を行った住宅について、申告により翌年度分の固定資産税(東部分)を減額する。	員労課	東運係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	5件	住宅における助産師改修工事の促進	A		A		電力料及び市税条例の規定による

体系No.	事業等の名称	事業等の概要	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	担当係	中期計画 中期の視点から事業 期の方針	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考					
								4700方向性: 「実施・充実に」「検討」「完了」 【4700方向性については「実施・充実に」「検討」「完了」の順に記すこと(「完了」は必ずしも「実施」の前には記さないこと)】	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和4年度実施状況		令和5年度の実施予定		S-計画も超えて達成 A-計画どおりに達成 B-実施したが計画より未達成 C-未実施	左記の理由等 理由(A以外の場合のみ記入)	S-見込を越えた効果あり A-見込を越えた効果あり B-見込に達しなかった C-評価に当てはまらない D-その他(必要に応じて備考欄に記入)		左記の理由等 理由(A以外の場合のみ記入)				
														A-実施中 B-未実施 C-完了済 D-その他	左記の理由等 理由(A以外の場合のみ記入)	当該事業の進捗 実績(達成可)	実績 (効果や課題)						A-継続(値) B-中止(値) C-未実施	左記の理由等 理由(A以外の場合のみ記入)		
XYZ	N	XYZ-N				(ない場合は「-」)	前期3年 (R3~7年)	中期3年 (R8~12年)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	Ⅱ-実施中 Ⅲ-実施中 Ⅳ-予定通り Ⅴ-実施済	Ⅰ-実施中 Ⅱ-実施中 Ⅲ-実施中 Ⅳ-実施中 Ⅴ-実施中 Ⅵ-実施中 Ⅶ-実施中 Ⅷ-実施中 Ⅷ-実施中 Ⅸ-実施中 Ⅹ-実施中 Ⅺ-実施中 Ⅻ-実施中	Ⅰ-実施中 Ⅱ-実施中 Ⅲ-実施中 Ⅳ-実施中 Ⅴ-実施中 Ⅵ-実施中 Ⅶ-実施中 Ⅷ-実施中 Ⅷ-実施中 Ⅸ-実施中 Ⅹ-実施中 Ⅺ-実施中 Ⅻ-実施中										
711	4	711-4	公共施設の機能高度化	公共施設の建設・改修工事において、省エネ省エネルギー機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	予定通り工事を実施したため	公共施設の工事において、省エネ省エネルギー機器を導入します。	A	A	A	A	A					
711	4	711-4	公共施設の機能高度化	公共施設の建設・改修工事において、省エネ省エネルギー機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	-	検討中	A	A	A	A	A					

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		備考		
	体系No.	事業等の名称			事業等の概要	所管課名	担当係	中期の視点から事業期間の方向性	4つの方向性：「実施・充実」「検討」「完了」「中止」の進捗状況（R3～R7年度）					令和4年度実施状況					計画に対する評価	実績（効果）に対する評価
									前期3年（R3～7年度）	中期3年（R3～7年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計画	実績			
XYZ	N	XYZ-N																		
711	4	711-4	公共施設の建設・改修工事において、省エネ・省資源の高い機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	D		A					
712. 省資源・省エネルギーの推進																				
712	1	712-1	住宅用省エネルギー機器普及促進補助	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D	住宅における省エネルギー機器等の設置を支援するため、補助金を交付している。	A	同様の事業を再開する。	A		
712	2	712-2	小倉市環境改善基金の活用	まちづくり推進課	住宅係	見直し検討	見直し検討	検討	検討	検討	検討	検討							令和4年4月1日から制度廃止のため評価できず	
712	3	712-3	市民・事業者向け、エコポイントの活用	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		エコポイントの活用状況を把握している。	A		A		
712	4	712-4	公共施設における省資源機器等の設置	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		検討中	A		A		
712	4	712-4	公共施設における省資源機器等の設置	関係各課	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	D		検討する機会がなかった。	A				
713. 省資源化に向けた省資源機器の普及促進																				
713	1	031-2	「小倉市環境行動計画」の活用	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	D	市ホームページで公開している省資源機器等の活用を促進している。	A	B	A		

体系No.	事業や取組の概要		必要に応じて	実施計画	実施計画年次(前期)					毎年の進捗管理における記入欄				計画に対する評価		実績(効果)に対する評価		備考			
	事業等の名称	事業等の概要			所管課名	担当係	中期的視点からの事業期間の方向性	4つの方向性:「実施」・「充実」・「継続」・「完了」 ①計画達成(2023年度)②計画達成(2024年度)③計画達成(2025年度)④計画達成(2026年度)⑤計画達成(2027年度)					令和4年度実施状況		令和5年度の進捗予定		左記の理由や詳細(A以外の場合のみ記入)		左記の理由や詳細(A以外の場合のみ記入)		
								前年度(2022年度)	前年度(2023年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A-継続(値) B-拡大(値) C-縮小(値) D-その他	左記の理由や詳細(A以外の場合のみ記入)				実績(達成可)	実績(効果や課題)
XYZ	N	XYZ-N																			
713	2	713-2	西エネチャレンジ事業	エネルギー消費削減率に応じて商品券や商品との交換可能なポイント制度を検討・実施する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A							
713	3	713-3	環境マネジメントシステム(ISO14001、エコアクション21等)を導入している事業所の環境報告書を検討・拡大する。	環境政策課	環境係	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	継続	C	令和5年度以降検討						
220 自転車に関する取組の促進																					
721 交通手段の転換の促進																					
721	1	721-1	小倉井市ユニシティ(小倉井市ユニシティ(CoCo/PC)を運行する。また、運行ルートを見直しを念じた総合的な検証を行う。	交通対策課	交通対策係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A							
721	2	721-2	自転車駐車場整備計画	県中央本線の直下下を念じた駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	交通対策係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			B			市営自転車駐車場は、駅前地上物を活用し、確保しているが、引き続き、民間事業者による整備を促していることと併せて、他局に活用できる駅前下地の開発を進めていきたい。	
722 自動車の低炭素化の促進																					
722	1	722-1	EVドライブの普及啓発	チラシ、パンフレット等によるEVドライブに関する普及啓発を行う。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A							
722	2	722-2	次世代自動車の情報提供	次世代自動車の性能や効果、各種補助金制度等の情報提供をチラシ、パンフレット等で行う。	環境政策課	環境係	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A	令和4年度から次世代自動車普及促進補助金の交付を開始した。当初予算額3,200千円及び補正予算額1,700千円計4,900千円が交付された。						環境フォーラムにおいて、次世代自動車普及促進委員会を組織し、購入促進を図ることとした。
722	3	722-3	次世代自動車を利用しやすい環境づくり	公共施設の建設・改修工事の際は、急速充電設備の設置や、次世代自動車の利用しやすい環境づくりを検討する。	環境政策課	環境係	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	ホームドリームなどで情報発信しているが、次世代自動車利用しやすい環境づくりが、4年度から環境フォーラムの検討までには至っていない。市役所の方々の関心が高まっている。						
221 長崎県観光振興に関する取組																					
731	1	731-1	長崎県観光振興に関する取組	市のホームページ、広報誌、パンフレット等様々な媒体を通じて、観光振興による経済効果の向上、長崎県観光振興の促進、市民や事業者が実施可能な対策等に関する情報を発信する。	環境政策課	環境係	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A	市HPなどで情報発信を促している。						
732 長崎県観光振興に関する取組																					

グリーン購入活動の実施

グリーン購入とは、製品の原材料から生産、消費、廃棄の各段階を通して環境への負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入することを指します。

平成 13 年 4 月に「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」が施行され、地方公共団体に対してもグリーン購入の実施が義務づけられました。

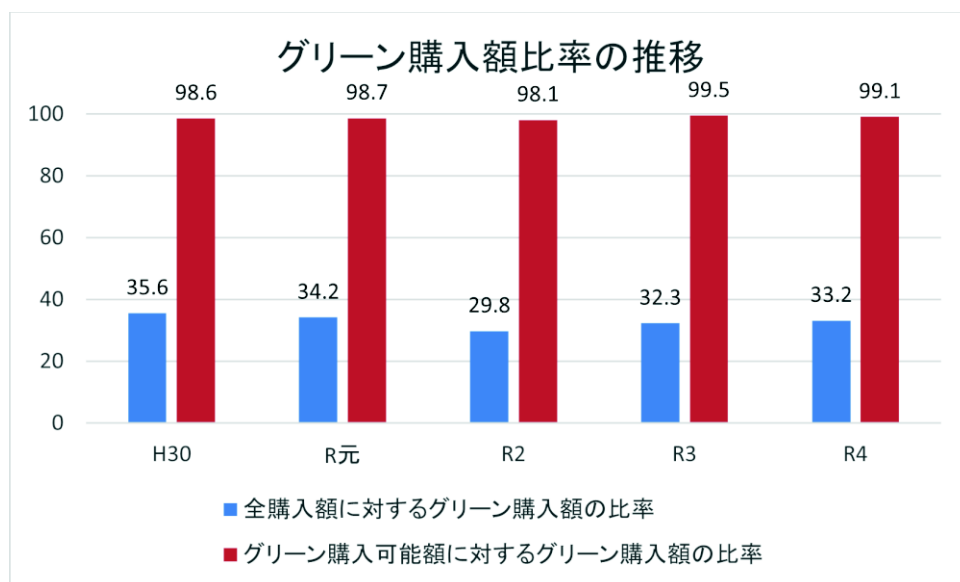
市でも、平成 13 年に「小金井市グリーン購入基本方針」及び「グリーン購入ガイドライン」を策定し、環境に配慮した製品の購入に努めてきました。市内では、平成 14 年度から実績調査を実施し、環境に配慮した製品の購入状況を公表しています。

グリーン購入額の全購入額に占める令和 4 年度の比率は 33.2%となり、令和 3 年度と比較して 0.9%の増加となりました。

また、平成 24 年度からは購入する物品のうち、実際にグリーン購入が可能なものを分けて考え、グリーン購入可能額も調査することとしました。グリーン購入額のグリーン購入可能額に占める令和 4 年度の比率は 99.1%となり、令和 3 年度と比較して 0.4%の減少となりました。

令和 4 年度の実績額を見ますと、令和 3 年度と比較して、グリーン購入額は約 598 千円の増額、全購入額は約 8,136 千円の減額、グリーン購入可能額は約 3,840 千円の増額となっています。

市では、グリーン購入を効果的に推進するため、市内にグリーン購入推進会議を設置しており、令和 4 年度は 2 回の会議を開催しました。今後もグリーン購入を推進し、可能な限り環境に配慮した製品の購入を行っていきます。



住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金

令和 6 年度事業実施に当たっての検討課題

年度	予算額 (円)	決 算 額	補 助 対 象 機 器					合 計	
			区 分	補 助 対 象 機 器					
				燃料電池	太陽光発電システム	蓄電システム	太陽熱温水器		太陽熱ソーラーシステム
平成 30 年度	10,550,000	補助金額 (円)	5,000,000	2,666,000	600,000	15,000	0	8,281,000	
		補助件数 (件)	100	30	12	1	0	143	
令和元年度	10,550,000	補助金額 (円)	3,700,000	3,279,000	1,600,000	0	0	8,579,000	
		補助件数 (件)	74	36	32	0	0	142	
令和2年度	10,050,000	補助金額 (円)	2,950,000	2,526,000	1,950,000	0	0	7,426,000	
		補助件数 (件)	59	27	39	0	0	125	
令和3年度	10,045,000	補助金額 (円)	2,300,000	4,118,000	2,400,000	0	0	1,209,000	10,027,000
		補助件数 (件)	46	44	48	0	0	15	153
令和4年度	10,045,000	補助金額 (円)	2,650,000	3,367,000	1,850,000	0	30,000	2,148,000	10,045,000
		補助件数 (件)	53	37	37	0	1	27	155

※断熱窓は令和3年度から開始

過去 5 年間の補助実績

住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金

令和6年度事業実施に当たっての検討課題

年度	予算額 (円)	決 算 額 等 区 分	補 助 対 象 機 器						合 計
			燃 料 電 池	太 陽 光 電 シ ス テ ム	蓄 電 シ ス テ ム	太 陽 熱 温 水 器	太 陽 熱 ソ ー ラ ー シ ス テ ム	断 熱 窓 ※	
			令和3年度	10,045,000	補助金額 (円)	2,300,000	4,118,000	2,400,000	
		補助件数 (件)	46	44	48	0	0	1	153
令和4年度	10,045,000	補助金額 (円)	2,650,000	3,367,000	1,850,000	0	30,000	2,148,000	10,045,000
		補助件数 (件)	53	37	37	0	1	2	155

※断熱窓は令和3年度から開始

令和3年度の執行率 99.8%

令和4年度の執行率 100% (令和5年2月頃に終了)

令和5年度についても、9月末に上限額に達し、終了

住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金

第6章 重点施策

1. 重点施策の目的

温室効果ガス排出量の削減目標の達成及び気候変動の影響への適応に向けて、本市で重点的に取り組む対策を緩和策及び適応策の観点から、それぞれ重点施策に位置付けます。

(1) 重点緩和策

●省エネルギー対策

本市の温室効果ガス排出量の削減においては、家庭や事業所からの排出抑制を最大の課題と捉えていることから、ソフト面（省エネ意識の向上）及びハード面（省エネ機器・設備の導入）の双方からの対策として重点施策 1 及び重点施策 2 を設定しました。

重点施策 1 省エネチャレンジ事業の実施

重点施策 2 新エネルギー機器等利用設備補助制度の拡充

重点施策 2 新エネルギー機器等利用設備補助制度の拡充

本市では、これまで太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入補助事業を実施してきましたが、近年は蓄電池を除き制度の活用が伸び悩んでいます。

2019 年度に実施した市民意識調査では、蓄電池のほか、次世代自動車や HEMS、高効率給湯器、コージェネレーションシステムなどについての導入意向が高く、市民が導入補助を求める設備・機器に変化が生じているといえます。

既存の補助事業について、市民の関心が高まっている設備・機器へと補助対象を拡充するなどにより、家庭における省エネ化の促進を図ります。

<温室効果ガス排出量の削減見込（2030 年度）>

温室効果ガス排出量の削減見込 1,551 t-CO₂（2013 年度比 0.44%）

●補助事業の対象機器の拡充

制度の拡充、または新規制度の創設に際しては、既存の補助制度の利用者を対象としたアンケート調査結果を活用し、市民の関心が高まっていると考えられる省エネルギー機器・設備及び再生可能エネルギー設備の対象化を検討します。

●補助事業の見直し

既に対象としている再生可能エネルギー設備についても補助内容の見直しを行います。

具体的には、設備の容量ごとの補助金額や設備の規格などについて、他自治体などの類似制度などを参考に、より利用しやすいものへと検討します。

<取組指標>

指標	現状	目標
住宅用新エネルギー機器等補助件数	142 件 (2019 年度)	補助額相当の件数を達成 (2030 年度)
太陽光発電導入世帯数（累計）	1,183 件 (2018 年度)	1,940 件 (2030 年度)

住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金

重点施策2 新エネルギー機器等利用設備補助制度の拡充

本市では、これまで太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入補助事業を実施してきましたが、近年は蓄電池を除き制度の活用が伸び悩んでいます。

2019年度に実施した市民意識調査では、蓄電池のほか、次世代自動車や HEMS、高効率給湯器、コージェネレーションシステムなどについての導入意向が高く、市民が導入補助を求める設備・機器に変化が生じているといえます。

既存の補助事業について、市民の関心が高まっている設備・機器へと補助対象を拡充するなどにより、家庭における省エネ化の促進を図ります。

<温室効果ガス排出量の削減見込（2030年度）>

温室効果ガス排出量の削減見込 1,551 t-CO₂（2013年度比0.44%）

● 補助事業の対象機器の拡充

制度の拡充、または新規制度の創設に際しては、既存の補助制度の利用者を対象としたアンケート調査結果を活用し、市民の関心が高まっていると考えられる省エネルギー機器・設備及び再生可能エネルギー設備の対象化を検討します。

● 補助事業の見直し

既に対象としている再生可能エネルギー設備についても補助内容の見直しを行います。具体的には、設備の容量ごとの補助金額や設備の規格などについて、他自治体などの類似制度などを参考に、より利用しやすいものへと検討します。

<取組指標>

指標	現状	目標
住宅用新エネルギー機器等補助件数	142件 (2019年度)	補助額相当の件数を達成 (2030年度)
太陽光発電導入世帯数（累計）	1,183件 (2018年度)	1,940件 (2030年度)

第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画から抜粋

市民の関心が格段に高くなっている



➤ 増額要求の検討

➤ 補助メニュー増の検討
【屋根、外壁等への遮熱塗装】

- ・ 狛江市
- ・ 福生市
- ・ 国立市
- ・ 武蔵村山市
- ・ 羽村市

（補助額は市により異なる。）

(第1次) 小金井市地球温暖化対策地域推進計画の総括 (改定)

(第1次) 小金井市地球温暖化対策地域推進計画 (以下「地域推進計画」という。) における最終年度 (2020年度) の温室効果ガス排出量 (推計) 算定結果が公表されたため、二酸化炭素排出量及びエネルギー消費量の推計について、以下のとおり報告します。

1 (第1次) 地域推進計画における二酸化炭素排出削減について

(1) 二酸化炭素排出の削減目標について

基準年度である2006年度277kt-CO₂ に対して、2020年度までに27% (74kt-CO₂) 削減の203kt-CO₂を目標とする。

(2) 結果

3.3% (9kt-CO₂) 増の286kt-CO₂だった。

表1 CO₂排出量の推移

	2006年度 (平成18年度)	2020年度 (令和3年度)	増減 (%)
民生部門計	205 kt-CO ₂	241 kt-CO ₂	17.6%増
家庭小計	138 kt-CO ₂	158 kt-CO ₂	14.5%増
業務小計	67 kt-CO ₂	83 kt-CO ₂	23.9%増
民生部門以外の計 (産業、運輸等)	72 kt-CO ₂	45 kt-CO ₂	37.5%減
総合計	277 kt-CO ₂	286 kt-CO ₂	3.3%増
(目標)	—	(203 kt-CO ₂)	(27%減)
世帯数※ (世帯当たりのCO ₂ 排出量)	53,175 (0.0052 kt-CO ₂ /世帯)	62,177 (0.0046 kt-CO ₂ /世帯)	11.5%減
人口※ (人口当たりのCO ₂ 排出量)	111,516 (0.0025 kt-CO ₂ /世帯)	124,078 (0.0023 kt-CO ₂ /世帯)	8%減

※各年度4月1日現在

(3) 講評（二酸化炭素排出削減について）

計画最終年度（2020年度）の二酸化炭素排出量は、基準年度（2006年度）より3.3%増加し、27%削減するという目標は達成できなかった。

同時期に策定された東京都の計画（2020年までに温室効果ガスの総排出量を2000年比25%削減）においても3.7%削減にとどまっている実情はあるものの、温室効果ガス排出量全体としては、エネルギー消費量の削減及び電力の二酸化炭素排出係数の改善効果により、2012年度からは減少傾向にある。

また、全体で見ると27%削減するという目標を達成できなかったものの、世帯数、人口数あたりでの数値を比較するとそれぞれ11.5%減、8%減となっており、世帯、人口単位でみた場合も減少傾向にある。

表2 各計画のGHG等の削減目標

	計画名	策定 年月日	削減 対象	基準年度	削減目標	結果 (排出量)
市	(第1次) 地域推進計画	2015.3	CO ₂	2006年度 277 kt-CO ₂	27%削減	2020年度 286 kt-CO ₂ (3.3%増)
都	「東京都の省エネルギー目標」	2014.3	GHG	2000年度 6,220万 t-CO ₂	25%削減	2020年度 5,990万 t-CO ₂ (3.7%減)
市	第2次地域推進計画	2021.3	GHG	2013年度 352 kt-CO ₂	26%削減	2030年度 (目標 261 kt-CO ₂)
国	地球温暖化対策計画	2021.10	GHG	2013年度 14.08億 t-CO ₂	46%削減	2030年度 (目標 7.60億 t-CO ₂)
都	「2030年カーボンハーフ」	2022.2	GHG	2000年度 6,220万 t-CO ₂	50%削減	2030年度 (目標 3,110万 t-CO ₂)

※GHG…温室効果ガス（CO₂、メタン、一酸化二窒素等

【参考】

二酸化炭素排出量（民生部門）について、基準年度を2013年度とした場合、2020年度までに11.4%（272→241 kt-CO₂）削減されており、減少傾向にある。

2 (第1次) 地域推進計画におけるエネルギー消費量削減について

(1) エネルギー消費量削減目標について

基準年度である2006年度3,737TJに対して、2020年度までに14% (523TJ) 削減の3,214TJを目標とする。

(2) 結果

11.6% (432TJ) 削減の3,305TJだった。

表3 エネルギー消費量の推移

	2006年度	2020年度	増減 (%)
産業・業務部門計	1,019TJ	927TJ	9.0%減
家庭部門計	1,942TJ	1,940TJ	0.1%減
運輸部門計	776TJ	438TJ	43.6%減
総合計	3,737TJ	3,305TJ	11.6%減
(目標)	—	(3,214TJ)	(14%減)
世帯数※ (世帯当たりのエネルギー消費量)	53,175 (0.070TJ/世帯)	62,177 (0.053TJ/世帯)	24.2%減
人口数※ (人口当たりのエネルギー消費量)	111,516 (0.033TJ/世帯)	124,078 (0.027TJ/世帯)	18.2%減

※各年度4月1日現在

(3) 講評 (エネルギー消費量削減について)

東京都全体を部門別でみた場合、エネルギー消費量削減については以下のとおりとなる。

▶ 産業・業務部門	2000年度比	7.4%減少
▶ 家庭部門	2000年度比	32.9%増加
▶ 運輸部門	2000年度比	50.7%減少

2000年度比であるため単純比較はできないが、エネルギー消費量については東京都全体で家庭部門が増加傾向にあり、家庭部門が大半を占める本市の特徴から、14%の削減目標を達成できなかったものの、目標数値に近い数値となっており、新型コロナウイルスの影響による社会の変容や生活様式の変化等、特異な状況下にならなければ目標を達成

できた可能性がある。

なお、世帯数、人口数あたりでの数値を比較するとそれぞれ24.2%減、18.2%減となっており、世帯、人口単位でみた場合は目標（14%減）を達成していることとなる。

表4 各計画のエネルギー消費量の削減目標

	計画名	策定 年月日	基準年度	削減目標	結果 (排出量)
市	(第1次)地域推進 計画	2015.3	2006年度 3,737TJ	14%削減	2020年度 3,305TJ (11.6%減)
都	「東京都の省エネ ギー目標」	2014.3	2000年度 801,700TJ	20%削減	2020年度 581,642TJ (27.3%減)
市	第2次地域推進計画	2021.3	2013年度 3,409TJ	17%削減	2030年度 (目標 2,829TJ)

二酸化炭素排出量、エネルギー消費量ともに、世帯当たり、人口当たりで比較した際、減少傾向にあることが分かる。

一概には結論付けすることはできないが、太陽光などの自然エネルギーの導入が進んでいることや家電製品の省エネ家電の導入が進んでいることに加え、個人一人ひとりの意識の高まりがあり、こういった結果につながっているのではないかと推測される。

小金井市立公園等及び小金井市環境楽習館の指定管理者の指定について

1 管理を行わせる公の施設の名称及び位置

名称	位置
小金井市立公園	市内 2 2 2 か所
小金井市滄浪泉園緑地	小金井市貫井南町三丁目 2 番 2 8 号
小金井市環境楽習館	小金井市貫井南町三丁目 2 番 1 6 号

2 指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地

名 称 株式会社日比谷アメニス（会社概要は資料 5（参考資料 1）のとおり）
所在地 東京都港区三田四丁目 7 番 2 7 号

3 指定の期間

令和 6 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで

4 指定管理者の選定経過

(1) 公募の公表

市報 4 月 1 日号及び市ホームページで募集要項の公表

(2) 公募説明会の開催

令和 5 年 4 月 2 4 日（月）

(3) 質問の受付

ア 第 1 回

令和 5 年 4 月 1 3 日（木）から同月 2 8 日（金）まで

イ 第 2 回

令和 5 年 5 月 2 6 日（金）から同年 6 月 2 日（金）まで

(4) 質問の回答

ア 第 1 回

令和 5 年 5 月 1 2 日（金）

イ 第 2 回

令和 5 年 6 月 2 3 日（金）

(5) 応募書類の受付

ア 資格審査書類

令和5年4月13日（木）から同年5月19日（金）まで

イ 1次審査書類

令和5年5月26日（金）から同年6月30日（金）まで

(6) 応募団体数

2団体

(7) 指定管理者選定委員会

ア 1次審査 令和5年7月18日（火）2団体合格

イ 2次審査 令和5年7月26日（水）指定管理者候補者の選定

(8) 選定理由

指定管理者選定委員会から次のような選定理由を付した答申を受けた。

選定に当たっては、応募団体から提出された事業計画書、年度別収支予算書、プレゼンテーション、ヒアリング等を基礎に選定基準に基づいて選定を行った結果、株式会社日比谷アメニスが、総合評価において第1位となり、指定管理者候補者として最適と判断した。

なお、以下の点が優れている。

ア 東京都内及び全国で類似施設の指定管理業務を担っており、安定性、持続性の高さが見込まれる。

イ きめ細やかな巡回管理と管理システム活用による効率化により、公園の維持管理の向上が期待できる。

ウ 様々な提案事業を実施する中で、市民協働の推進が期待できる。

したがって、上記答申のとおり、株式会社日比谷アメニスを指定管理者候補者として決定した。

(9) 指定管理者選定委員会2次審査評価結果（指定管理者選定委員による評点結果）

資料5（参考資料2）のとおり

(10) 指定管理者の指定

令和5年9月25日に開催された小金井市議会において小金井市立公園、小金井市滄浪泉園緑地及び小金井市環境楽習館の指定管理者について、株式会社日比谷アメニスを指定し、議決された。

株式会社日比谷アメニスの概要

1 設 立 昭和46年10月1日

2 設立目的

- (1) 造園土木、一般土木並びに建築工事
- (2) ゴルフ場建設及び各種競技場工事
- (3) 遊園器具及び体育器具設置工事
- (4) (1)から(3)までの工事に関連する設計監理、鑑定及び製作販売業務
- (5) 観光施設、スポーツ施設、公園、道路の経営及び受託運営
- (6) 観光施設、スポーツ施設、公園、道路の経営及び受託運営に関するコンサルタント
- (7) 生花、商品の企画、開発、販売及びコンサルタント
- (8) 各種イベントの企画、実施及びコンサルタント
- (9) 売店、喫茶及びレストランの運営に関する業務
- (10) 広報、プロモーションに関する企画及びコンテンツ制作に関する業務
- (11) 不動産賃貸に関する事業
- (12) (1)から(11)までに附帯する一切の業務

3 資 本 金 300,000,000円

4 売 上 高 9,914,474,417円 (令和4年9月30日現在)

5 従業員数 456人 (令和4年9月30日現在)

6 主な事業実績

- (1) 東京都立夢の島公園・夢の島熱帯植物館 (東京都)
- (2) 海上公園 南部グループ (15公園) (東京都)
- (3) 東京都立都市部の公園・東部グループ (7公園) (東京都)
- (4) としまみどりの防災公園: IKE・SUNPARK (豊島区)
- (5) 麻布地区 港区立公園・児童遊園 (23施設) (港区)
- (6) 芝地区 港区立公園・児童遊園 (18施設) (港区)
- (7) 総合レクリエーション公園・新左近川親水公園 (江戸川区)
- (8) 北運動場外 (10施設) (北区)
- (9) 浮間・赤羽西地区 北区公園等 (4公園) (北区)
- (10) 滝野川地区 北区公園等 (3公園) (北区)

- (11) 王子地区 北区公園等（5公園）（北区）
- (12) 新荒川大橋緑地等（6施設）（北区）
- (13) 東村山市立公園（169施設）（東村山市）
- (14) 日比谷花壇大船フラワーセンター（神奈川県）
- (15) 生田緑地（川崎市）
- (16) 峰山霊園・柴胡が原霊園（相模原市）
- (17) 長井海の手公園（ソレイユの丘）（横須賀市）
- (18) ピアラシティ交流センター・ピアラシティ中央公園（三郷市）
- (19) 国営ひたち海浜公園（国土交通省）
- (20) 市原市総合公園（上総更級公園）（市原市）
- (21) 千葉市都市緑化植物園（千葉市）
- (22) 桂川ウェルネスパーク（山梨県）
- (23) せんだい農業園芸センターみどりの杜（仙台市）
- (24) 名古屋市農業センター（名古屋市）
- (25) うめきた二期地区開発事業（独立行政法人都市再生機構）
- (26) 咲くやこの花館（大阪市）
- (27) 花とみどりの情報センター（吹田市）
- (28) 都市緑化センター（堺市）
- (29) 五月山緑地（池田市）
- (30) 都市計画公園等（130公園）（池田市）
- (31) 甲山森林公園（兵庫県）
- (32) 宝塚市立文化芸術センター（宝塚市）
- (33) 運動公園（4公園）（尼崎市）
- (34) 鳴尾浜臨海公園南地区（西宮市）
- (35) 天神中央公園（福岡県）

指定管理者選定委員会 2 次審査評価結果（指定管理者選定委員による評点結果）

No.	大項目	中項目	審査基準	総合点	指定管理候補者	
					第 1 位	第 2 位
					(株)日比谷 アメニス	A 事業者
1	実施方針	事業コンセプト	施設の特性及び指定管理者に求める能力と役割を十分理解し、施設の賑わい、魅力、利便性の向上及び利用促進について、民間事業者のノウハウを最大限発揮した独自の工夫が示されているか。	20	17	14
2	実施方針	事業計画	本事業の目的を達成するため、事業全体スケジュール及び事業の進め方・工程管理は合理的でかつ具体的に設定されているか。	20	17	14
3	実施方針	実施体制	事業全体を効果的に統括管理し、常に改善を図りながら継続的に取り組むため、事業者内の役割、リスク及び責任の分担が明確であり、かつ連携体制が確立されているか。	20	17	13
4	実施方針	実施体制	税理士等の資格を持つ専門的な見地からの外部有識者等の意見を基に持続可能な管理運営であるか。	20	14	13
5	実施方針	実施体制	本事業を実施する上で必要な専門的な知識・技術力、経験を有している人材を適切に配置しているか。	60	48	45
6	実施方針	実施体制	市内の実績ある事業者及び市内の地理に精通している人材を積極的に活用することにより、効果的・効率的な体制を構築する具体的な計画が示されているか。	60	45	45
7	管理運営	危機管理対応	想定されるあらゆるリスクに対し、それぞれの予防措置対応が具体的かつ実効性のある計画が示されているか。	20	15	13
8	管理運営	コンプライアンス	個人情報の保護及び情報公開について、法令及び社会的に求められる責務を果たすために、具体的な配慮及び措置を講じ、自ら確認・評価・改善する計画となっているか。	20	15	12
9	管理運営	高齢者・障がい者の雇用機会促進	高齢者及び障害者の雇用に関する法令の趣旨を踏まえ、障がい者団体との現契約内容の継続、シルバー人材センターの積極的な活用及び高齢者や障がい者の雇用機会の拡大する計画とし、高齢者や障がい者を多数雇用する企業等からの物品やサービスの調達への配慮を盛り込んだ具体的な計画となっているか。	20	14	16
10	管理運営	環境負荷低減の取組	環境マネジメントの観点より、紙の使用量削減、エネルギー使用量の削減、廃棄物排出量の削減、グリーン購入の促進、環境負荷の少ない電力の調達等について具体的な検討がされているか。	20	17	14
11	管理運営	市民・利用者の対応	要望・苦情について、対応経過を記録簿に記録し、随時、市と情報共有できる仕組みを構築するとともに、主体的かつ誠意をもって対応し、利用者及び地域住民等の声を的確に把握することにより信頼関係を構築し、迅速、的確、丁寧に対応するため、事業者内での横の連携及び各事業者内部での連絡・相談体制が、確立されているか。	20	16	13
12	管理運営	市民協働の推進	関係団体からの相談対応及び定期的な協議、民間のノウハウを最大限発揮した独自かつ実現可能な方策が示されているか。	40	32	30
13	管理運営	利用者アンケートの実施	質の向上に向けた管理運営を図る上で、多様化するニーズを把握するための利用者等のアンケートについて、調査方法、調査項目、アンケート結果の反映手法が具体的に示されているか。	20	15	13
14	管理運営	子育て支援	共生社会の実現につながる場を確保するため、あらゆる子ども（障がいのある子・ない子、外国にルーツを持つ子）や親同士が、だれでも参加できる遊びやあらゆる利用者に配慮した遊び場・菜園等の活用した具体的な取組が示されているか。	40	30	26

No.	大項目	中項目	審査基準	総合点	指定管理候補者	
					第1位	第2位
					㈱日比谷アメニス	A事業者
15	管理運営	ユニバーサルデザイン	障がいの有無、年齢、性別及び言語等に関わらず、多様な利用者が安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できるよう、きめ細やかな配慮が十分検討された計画となっているか。	20	15	12
16	管理運営	自主事業	施設の機能や特性を踏まえ、新たな市民サービスの提供について、具体的かつサービスの向上が期待できる実効性のある独自の提案が示されているか。	40	36	26
17	管理運営	提案事業 (低未利用公園の活用)	地域住民等から積極的にアイデアを募集し、地域のニーズに即した利活用を図るため、募集方法、合意形成の手法、市との役割分担について、具体的な提案が示されているか。	40	30	30
18	管理運営	提案事業 (施設の一体利用)	滄泉園緑地の来園者を環境楽習館に誘導し、双方が持つ特性を生かした仕組みづくり、整備手法、整備内容について、積極的な提案が示されているか。	20	16	15
19	管理運営	提案事業 (広報の推進)	利用者の増加を図る上で施設の魅力を積極的に発信し、効果的に広報するとともに、「やさしい日本語」を活用し、高齢者、障がい者及び外国人を含む誰もが利用しやすいものとなるよう、民間のノウハウを最大限発揮した具体的な計画となっているか。	20	15	13
20	維持管理	安全対策	利用者が安全、快適に利用できるよう、日常的な対策について、専門的な知識や経験を生かした具体的な計画となっているか。	40	30	28
21	維持管理	適切な施設管理	施設の維持管理について、事後対応から予防的対応へ転換するために、中長期的な視点で計画を立て、日常的に施設の状態を把握し、迅速かつ適切な維持管理のための具体的な計画となっているか。	60	51	42
22	財政運営	経費の縮減	自主事業等による収益の確保を図り、安定的かつ妥当性のある収支計画とし、新たな市民サービスの提供に寄与する計画となっているか。	20	13	13
23	財政運営	経費の縮減	民間のノウハウ及び経験に基づく、創意工夫によるコスト削減について、具体的な計画となっているか。	20	14	13
24	市立公園	自主事業 (設置管理許可制度)	公園の更なる活用により、市民サービスの向上を図るため、公園施設の設置管理許可制度について、具体的な計画となっているか。	20	14	14
25	環境楽習館	にぎわいの創出	環境楽習館が地域で暮らす様々な人の日常的な居場所となり、何度も訪れたいくなるような現実的かつ具体的な提案となっているか。	40	32	28
26	環境楽習館	自主事業 (食にふれあう場)	実現可能な提案であるか。地場野菜等を活用する等、身近な農やエコにふれあう場を確保できる提案となっているか。	20	16	13
27	環境楽習館	自主事業 (イベントの実施)	環境楽習館の特長を活かし、環境に関する学習や体験を通じて市民が環境に配慮した行動の実践につながる提案となっているか。	20	16	14
28	環境楽習館	提案事業 (環境啓発事業)	子どもから大人までの市民に対して、環境意識を醸成する環境啓発事業の提案となっているか。	20	17	14
合計				800	627	556

※ 評価結果は、4人の委員が200点満点で採点し、合計800点満点で審査した。